

関西大学北陽高等学校・北陽中学校 2023年度学校評価報告書



2024年3月

目次

1 本校の概要	1
(1) 沿革	
(2) 建学の精神、教育目標	
2 今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策	2
重点目標①	2
・取組計画及び評価指標	
・自己評価	
重点目標②	3
・取組計画及び評価指標	
・自己評価	
重点目標③	4
・取組計画及び評価指標	
・自己評価	
重点目標④	6
・取組計画及び評価指標	
・自己評価	
3 アンケートの実施状況について	7
4 アンケート結果の分析について	8
・中高教員対象（組織・個人）学校評価	
・高校（保護者対象・生徒対象）学校評価	
・中学校（保護者・生徒対象）学校評価	
5 学校関係者評価委員会からの評価結果	12
(1) 自己評価の結果を受けて	
(2) アンケート結果について	
	関西大学副学長 社会安全学部 教授 高橋智幸
6 校長の意見書	14
7 アンケート結果	15

1 本校の概要

(1) 沿革

- ① 1922 年 6 月 5 日に、関西法律学校という専門学校から旧制大学へと昇格をし、関西大学が誕生する。大学昇格の立役者となったのは、当時の財界の大御所といわれた山岡順太郎氏（後の総理事、学長）である。順太郎氏は「知識をいくら集積しても力にはならない、断片的な知識をつなぎ合って活性化させ、社会に応用できて初めて力になる」という「学の実化（学理と実際の調和）」を提唱した。この考え方は、関西大学の学是であり、教育理念として現在も生きている。
- ② それから 3 年後の 1925 年、関大北陽の母体となった北陽商業学校が設立される。設立者は山岡倭（やまと）氏であり、順太郎氏の長男である。初代校長の糸島實太郎氏は関西大学出身で北陽を設立するに当たって、順太郎・倭父子の献身的な援助を受けることになる。
- ③ 1944 年に国の戦時非常措置令により工業学校への転換を余儀なくされたため、糸島校長は福武工学校との統合によって北陽の存続を図り、時局の要請に応えようとした。福武平十郎氏（北陽の初代理事長）は糸島校長の「北陽の法灯だけは絶やさないでほしい」という願いを聞き入れ、北陽工業学校と改称。終戦後、工業は商業に復帰し、さらに学制改革により北陽高等学校と改称した。
- ④ 2008 年、学校法人関西大学と学校法人福武学園が合併。関西大学北陽高等学校と改称。2010 年には関西大学経営審議会のすすめもあり、北陽中学校を開設。2024 年の 4 月には関西大学北陽高等学校第 17 期生、関西大学北陽中学校第 15 期生の入学式が行われる。

(2) 建学の精神、教育目標

「知徳体の調和のとれた人間性の育成」を建学の精神とし、生徒の個性や能力を最大限に伸ばし、「自ら考え判断し、責任を持つ」ことを教育目標としている。この目標を実現するため、本校では「知育」「徳育」「体育」を次のような観点で捉えている。

- ① 知育
基礎学力の充実を図り、自ら考える習慣を培い、自己の生き方を模索する知性と科学的なものの考え方を養う。
- ② 徳育
生活規範と社会のルールを遵守する大切さを学び、あらゆる学校生活や行事を通して自己の品性を高め、他者とともに生きるために必要な高い徳性を養う。

③ 体育

健康な身体と健全な精神を養うことを通じて、正しい状況判断と積極的かつ適切な行動ができるよう、体力・気力・判断力を育てる。

2 今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策

(1) 重点目標①：基礎的・基本的な「確かな学力」を修得し、進路実現を果たす。

達成状況の目安：(◎)大幅達成・(○)達成・(△)未達成・(×)大幅未達成

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
<p>ア スローラーナーに対し、高等教育に必要な学力を身に付けさせるために学力の向上を図る。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学力向上」項目で保護者対象アンケート肯定率 75%、生徒対象アンケート肯定率 80%以上 ・「スローラーナーへの対応」項目で保護者対象アンケート肯定率 70%、生徒対象アンケート肯定率 75%以上 	<p>【取組状況(Do)】</p> <p>定期試験を通して学力向上を図り、スローラーナーに対しては、ICTの活用、また、小テストで学力チェックを行い、補習授業や個別指導を実施した。中学校では、スローラーナーだけではなく、学力上位層への補習も行い、効果を上げ、模擬テストの成績も上昇している。2023年度の生徒対象のアンケートでは、若干ポイントが上昇した。</p> <p>【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×)</p> <p><学力向上></p> <ul style="list-style-type: none"> ・(高校)保護者対象：80% (◎) 生徒対象：80% (○) ・(中学校)保護者対象：77% (○) 生徒対象：89% (◎) <p><スローラーナー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・(高校)保護者対象：69% (△) 生徒対象：72% (△) ・(中学校)保護者対象：69% (△) 生徒対象：88% (◎) <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>今年度の取組をさらに進め、学力向上とスローラーナーに対応していきたい。その中で、英語科が、生成 AI を用いて授業や英検の課題において、ライティングの指導に生かし、英語力のアップにつなげていく。他の教科でも、生成 AI が有効に活用できないか、検討していく。</p>
<p>イ 基礎学力と多様な学びを身に付けた生徒を一人でも多く関西大学ならびに国公立大学へ送り出す。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関西大学への内部推薦の合 	<p>自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>2022年度、関西大学への内部進学率が初めて目標の90%以上を達成した。今年度も大学説明会、学部説明会、学部連携セミナー、「関大の知にふれる」など大学の学びを知るプログラムを実施した。これらのプログラムにおいては、卒業生の協力を得て、大学をより身近に感じる取組としている。</p> <p>特進アドバンスコースは、高い学力を身につけるため週 39 時</p>

<p>格率 90%以上</p> <p>・国公立大学に 10 名の合格</p>	<p>間、長期休暇中の午前中 3 時間の特別授業、学習合宿などを実施した。</p>
	<p>【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×)</p> <p>・関西大学への内部進学率 94% (○)</p> <p>希望者265名中 249名合格</p> <p>・大阪大学 4名 神戸大学 1名 大阪公立大学 1名 京都工芸繊維大学 1名 兵庫県立大学 1名 山形大学 (音楽系) 1名 高知大学 (農林海洋) 1名 10名合格 (○)</p>
	<p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>関西大学への内部推薦合格率 90%以上を目標に、学力向上を図り、特に、英検の取得率、スコアアップのため、今まで以上に 4 技能習得のための授業を展開していく。また、理工系 3 学部への進学率アップのため数学と理科を重点的に指導する。</p> <p>特進アドバンスコースは、ベネッセの模試から高いレベルの河合塾の模試に変更し、国公立大学進学に必要な学力の把握を行う。</p>

(2) 重点目標②：「多様な学び」を身に付けた生徒の育成

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
<p>ア 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行い、質の高い学びを実現する。</p> <p>【評価指標】</p> <p>・授業評価「生徒参加・対話型の授業」の項目で高校生、中学生アンケート肯定率 90%</p>	<p>【取組状況(Do)】</p> <p>2023年度、中高すべての学年、コースにiPadが導入され、授業においては、授業支援アプリ「ロイロノート」を中心に、グループ・クラスルームも活用し、生徒参加、対話型の授業を展開した。中学生はアンケートの肯定率が 2 ポイント下がったが、高校生は、探究学習も影響し肯定率は、95%となった。</p> <p>【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×)</p> <p><授業評価「生徒参加・対話型の授業」></p> <p>・高校生アンケート：95% (◎)</p> <p>・中学生アンケート：92% (○)</p>

	<p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>主体的・対話的で深い学びにおいて必要な「一人ひとりの理解に応じて個別に対応するような指導」についての授業評価項目でも肯定率高校 97%、中学校 99%となっており、高い評価である。</p> <p>今後は、現在の取組を継続しながら、グローバルクラスの論文作成など新しい取組を導入する。</p>
<p>イ 探究学習を推進し、生徒の思考力や判断力、表現力を育成する。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な探究の時間」 生徒アンケート <p>「生徒が主導し、活動内容の決定は先生と協働で行った」</p> <p>「先生の支援を受けて生徒が主導していた」</p> <p>生徒主導の項目が90%以上</p>	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>中学校の「総合的な学習の時間」 高校1年の「総合的な探究の時間」において探究学習を行った。高校1年の企業と学校による協働プロジェクトでは、25の企業・団体の課題解決の取組を通して、思考力や判断力、表現力を養うほか、リアルな社会課題に対して、解決策を提案した。</p> <p>また、高校2年グローバルクラス「探究SDGs」において、高校1年の取組を土台に探究学習をさらに進めた。</p> <p>【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×)</p> <p>「生徒主導」の項目 89% (△)</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>25の企業・団体と協働して取り組む産学連携プロジェクトにおける最終成果発表会終了後、2023年度の振り返りを行い、改善点を洗い出し、さらにブラッシュアップしていく。さらに2024年度は、高校3年グローバルクラス「探究SDGs」において、個人研究を行い、ポスター発表、論文作成につなげていく。</p>

(3) 重点目標③:「コミュニケーションの能力を有し、自ら考え判断する力」を養う教育

<p>取組計画及び評価指標(Plan)</p>	<p style="text-align: center;">自己評価</p>
<p>ア 英語教育による基礎・基本を徹底し、コミュニケーションツールとしての英語力向上を図る。</p>	<p>【取組状況(Do)】</p> <p>英語科においては、検定教科書を用いた知識習得と4技能の向上を目標に指導した。具体的には、ネイティブ講師とのTT授業の充実やオンライン英会話、また、スピーキングを強化するために、主体的に活動する場面を増やした。</p>

<p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学3年の合格目標を英検準2級以上40%、3級以上85% ・ 高校3年の合格目標を英検2級以上60%準2級以上85% 	<p>【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学3年 準2級以上41% (○) 3級以上90% (◎) ・ 高校3年 2級以上36% (×) 準2級以上65% (×) <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>評価指標については、2023年度、中学校の準2級(25%→40%)の目標数値を上げたが、目標を達成することができた。中学の段階で高いレベルの生徒が一定数いることは高校進学後、英語力の向上が期待できる。</p> <p>高校は、2級、準2級とも取得率が約20%下がった。今後も、新学習要領のもと英語4技能をバランスよく指導し2024年度の高校3年生で目標を達成したい。</p>
<p>イ 国際的な視野と問題意識を持ち、国際化が進む社会で活躍できるグローバル・リーダーを育成する。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員対象<組織面>アンケートの「国際化」項目で肯定率70%以上 	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p><国内プログラム> (希望者)</p> <p>中1：イングリッシュキャンプ 中2：オンライン留学 高1・高2：オンライン留学 高1～高3：Global Studies Program</p> <p><海外プログラム></p> <p>中2・中3：オーストラリア・ケアンズ研修 (希望者) 高2：ベトナム・シンガポール研修 (グローバルクラス)</p> <p>*高校2年グローバルクラスで、アメリカからの留学生を1年間受け入れた。</p> <p>【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員対象<組織面>アンケート 「国際化」項目 肯定率78% (◎) <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>教員対象「国際化」項目「ALTによる授業、異文化交流あるいは語学研修により国際理解を深める体制がある」については、本校の課題で2019年は、評価が2.20であったが、2020年に国際教育部を立ち上げ、2023年は、3.07に上昇し、組織的に取り組めつつある。</p> <p>2024年に予定されている、高校3年生のオーストラリア・アデレード研修(グローバルクラス+希望者)や継続的に行う留学</p>

	生の受け入れを通して国際理解教育を浸透していきたい。
--	----------------------------

(4) 重点目標④：大学とともに取り組む「次世代の人材育成」

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
<p>ア 大学との連携で、学問の一端にいち早く触れ、知的好奇心を高め、大学での「幅広い学び」を体験する</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中高大連携授業の実践」項目で保護者対象アンケート肯定率85%以上、生徒対象アンケート肯定率85%以上 	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>①中大連携プログラム</p> <p>中1 → 社会安全学部(防災教育)：社会科</p> <p>中2 → 理工系3学部(研究室体験)：理科</p> <p>中3 → 法科大学院(模擬裁判)：社会科</p> <p>②高大連携プログラム</p> <p>高2進学アスリート → 人間健康学部</p> <p>アドベンチャー施設を利用した体験学習</p> <p>③高校生が、関西大学との連携セミナーを通して大学での「幅広い学び」を実感する。</p> <p>【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×)</p> <p><中高大連携授業の実践></p> <ul style="list-style-type: none"> ・(高校)保護者対象アンケート：90% (◎) 生徒対象アンケート：89% (○) ・(中学校)保護者対象アンケート：86% (○) 生徒対象アンケート：94% (◎) <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>コロナ禍以前と同じように取り組むことができたことも一因となり、2023年は、「中高大連携授業の実践」項目のアンケートの肯定率は、昨年に比べすべて上昇した。</p> <p>各学部だけでなく、すでに連携している教育推進部や国際部とのつながりも強化していきたい。</p>
<p>イ 関西大学への進学をはじめ、一人ひとりの進路実現のためのキャリア教育を実践する。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「進路指導」項目で高校保護者対象アンケート肯定率70%以上 	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>関西大学進学希望者には、大学進学後、ミスマッチが起こらないように、大学との連携授業や連携セミナーなどを通して、学部の志望理由の明確化を第一に、進路指導を行った。</p> <p>高校1・2年生の特進アドバンスコースにおいて、国公立大進学へのモチベーションアップのための卒業生講話を実施した。</p>

II 保護者対象学校評価

全学年 1月9日(火)～1月22日(月)

III 生徒対象

全学年 1月9日(火)

⑥ 本報告書作成にあたって

上記のアンケートが実施された後は速やかにデータの集約が行われ、統計資料としてまとめられた。それをもとに、評価委員からそれぞれの立場で分析をし、評価委員から出された意見をまとめた。最終的には、そのまとめの資料を使って、再度分析と改善案についての検討を加え、本報告書を作成するに至った。

4 アンケート結果の分析

◆中高教員対象 学校評価<組織面、個人面>

・組織面の自己評価項目の平均

2021年：3.01 2022年：2.99 2023年：2.99

・個人面の自己評価項目の平均

2021年：3.21 2022年：3.14 2023年：3.14

組織面、個人面の自己評価項目の平均とも、2022年と同じポイントであった。組織面で特徴的なのは、「本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる」「本校に入学した生徒・保護者の満足度は高い」という学校全般のアンケート項目がこの4年間で最も高くなっている。コロナ禍が終わり、日常に近づきつつあると教員も感じていることが要因と考えられる。一方、教員の資質向上のための校内外の教員研修については、ポイントが低い傾向が続いている。本校では、個人研修において、参加費などを助成する制度があるが、有効活用できていないのが現状である。

(1) 学校運営について

①ミドルマネジメントによる組織運営 <組織面>

「主任(学年・分掌・教科)がミドルアップとミドルダウンに努め、組織運営が活性化している。」

2021年：2.74 2022年：2.80 2023年：2.92

②会議の有効性 <組織面>

「職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されている。」

2021年：2.77 2022年：2.84 2023年：2.93

ミドルマネジメントによる組織運営の評価は、直近3年ポイントが上昇している。教員の中には「現場の意見も拾いつつ、管理職の考えや意向もうまく伝わっており、主任の立場もうまく機能しているように思う。」という意見も聞かれるようになった。また、会議の

有効性についても、直近3年ポイントが上昇しており、ミドルマネジメントによる組織運営の評価と同じような傾向である。これらの項目はリンクしており、高いポイントを維持するためには、面談などによる意見の吸い上げとコミュニケーション能力の高い主任の任命が大切である。

(2) 教育内容について

・学力向上における組織的な取り組み、スローラーナーへの対応

学力向上への組織的な取組の組織面の評価は、D評価が1.6%と昨年より下がったが全体の評価は、2.82と少し下がった。また、スローラーナーへの対応については、2.56、個人面の評価でも2.51と、例年と同じく低い評価となった。中学校では、補習、放課後の個別指導、中学3年生での習熟度別授業、高校では、数学で習熟度別授業を取り入れるなど、生徒一人ひとりの学力に応じた指導を行っているが、教員自身は、やり切れていないと感じている。ただ、中学において、少しずつではあるがスローラーナー減少傾向にある。

(3) 生徒指導について

・家庭との連携状況

家庭との連携状況では、組織面2.92、個人面3.11と昨年と同程度である。学級閉鎖のクラスへのオンライン授業や、電話だけでなくメールによる家庭への連絡も定着し、家庭との連携体制も整いつつある。

(4) 生徒支援について

・進路指導体制、部活動支援状況、学校行事体制

上記3項目については、2023年度も、組織面、個人面の自己評価とも、3.0ポイントを上回り、2020年から高い評価が続いている。その中で、部活動支援状況の組織面3.40、個人面3.36、学校行事については、組織面3.25、個人面3.36と昨年に比べ上昇しており、この2項目もコロナ禍が終わり、日常が戻ったことが影響していると考えられる。

◆高校（保護者対象・生徒対象）学校評価

(1) 「学校評価重要8項目」の推移グラフより

①学園生活の満足度（学園生活）

保護者：高い評価で推移し、2021年度以降A評価が半数以上を占める。(3.45)

生徒：昨年は少し下降したが、一昨年までの傾向に戻った。(3.20→3.13→3.19)

②私学の独自性（教育方針・教育目標）

保護者：2020年度以降は3.00以上で推移し、A、B評価も安定している。(3.10)

生徒：昨年は少し下降したが、一昨年までの傾向に戻った。(2.94→2.84→2.97)

③知育（学力向上における組織的な取組み）

保護者：2019年度以降の上昇傾向を、ほぼ維持している。(2.98→3.08→3.06)

生徒：昨年度大きく下降したが、再度上昇している。(3.16→2.99→3.07)

④知育（スローラーナーへの対応）

保護者：2021年度までの上昇傾向から、下降傾向である。(2.86→2.85→2.83)

生徒：2021年度までの上昇傾向から、少し下降している。(3.06→2.94→2.96)

⑤徳育（社会規範の理解とモラルの醸成）

保護者：2020年度以降は3.20以上で推移し、A, B評価の割合も高い。(3.28)

生徒：2021年度以降は3.20以上で推移し、A, B評価の割合も高い。(3.24)

⑥進路指導（進路指導体制）

保護者：2021年度までの上昇傾向以降は、3.00以上で推移している。(3.08)

生徒：2020年度以降は3.20以上で推移し、A, B評価も安定している。(3.24)

⑦クラブ活動（部活動支援）

保護者：大きな変化はなく、3.20以上の高い評価で推移している。(3.20～3.26)

生徒：2020年度以降は、3.30以上の高い評価で推移している。(3.30～3.36)

⑧学校行事（学校行事支援体制）

保護者：下降傾向だったが、昨年から上昇傾向に転じている。(3.09→3.12→3.22)

生徒：2020年度以降、3.30以上で推移していたが、今年度さらに上昇した。

(3.31→3.43)

(2) 分析

上記「学校評価重要8項目」について、生徒による評価では全項目で上昇している。そのなかで、「学力向上の取り組み」が一昨年のピークまでではないが持ち直し、「スローラーナーへの対応」では昨年下降したあと戻りきってはいない。オンライン授業を含めて、コロナ禍での対応を手厚く感じていた生徒が多かったのではないかとと思われる。保護者による評価では半分の項目で上昇している。特に「部活動支援」と「学校行事支援体制」の上昇が大きく、コロナ禍が明けてからの制限が解除された活動や取組が評価されていると思われる。下降している半分の項目については、下がり幅は0.01～0.03と、それほど大きな変化はないが、「スローラーナーへの対応」の評価が2.83と他の評価と比べて低めであることは受け止めて、指導方法や取り組みを考えていく必要があると思われる。

ただし、保護者による評価、生徒による評価とも、コロナ禍前の2019年度の評価と比べるとすべて上昇しており、ほぼ通常通り行われた今年度の教育活動が、円滑に運営できていると判断できるのではないかと考える。

◆中学校（保護者対象・生徒対象）学校評価

(1) 「学校評価重要8項目」の推移グラフより

①学園生活の満足度

保護者：2019年度から2022年度までの評価は、上昇している。2023年度は、若干の下降がみられるが、A, B評価では上昇となる。

生徒：過去5年間の評価は、上昇している。2023年度は、過去最高の3.42ポイントとなる。

②私学の独自性（教育方針・教育目標）

保護者：2021年度をピークに下降しており、2023年度は、C評価の上昇が顕著である。
生徒：2019年度から上昇傾向が続き、2023年度は1.0ポイント上昇し、3.11となった。

③知育（学力向上における組織的な取り組み）

保護者：2021年度をピークに下降傾向となる。

生徒：2019年度から2022年度まで上昇し、2023年度は、3.34ポイントと横ばいとなる。

④知育（スローラーナーへの対応）

保護者：2021年度、最高であったが、2022年度は、0.23ポイント下降し、2.88ポイントとなり2023年度は、ほぼ横ばいである。

生徒：2019年度から2020年度にかけて0.13ポイント上昇し、その後は、ほぼ横ばいで推移しているが、A評価は50%台となっている。

⑤徳育（社会規範の理解とモラルの醸成）

保護者：2021年度にピークとなり、その後は下降しており、A評価も40%を下回った。

生徒：過去5年間の評価は、上昇している。2023年度は、過去最高の3.48ポイントとなる。

⑥進路指導

保護者：2021年度にピークとなり、その後は下降しており、A評価の割合も下降している。

生徒：2019年度から2022年度まで上昇し、2023年度は、3.35ポイントと横ばいとなる。

⑦部活動支援

保護者：2021年度をピークに下降しているが、2023年度は、昨年度同様、A、B評価で78%であった。

生徒：2021年度から2022年度にかけて下降したが、2023年度は0.15ポイント上昇し、3.50ポイントであった。

⑧学校行事指導体制

保護者：3.2ポイント前後で安定しており、A、B評価も80%以上である。

生徒：2021年度から2022年にかけて下降したが、2023年度は0.14ポイント上昇し、3.53ポイントになり、また、A評価が60%を超えた。

(2) 分析

全体として保護者は、昨年度よりほとんどの項目で、下降傾向となる。補習指導や学力向上は、保護者アンケートが下降傾向に対し、生徒アンケートは若干上昇しており、保護者と生徒間でのギャップが感じられる。また、生徒アンケートは、「重要8項目」のうち6項目で上昇傾向となっている。学力に関する評価項目では、生徒本人の学習へ対する意識が昨年同様少し向上してきている。

生徒アンケートでは、「学校の教育方針」の項目が低かったが、A評価の人数においては、年々増加している。少しではあるが生徒に浸透してきているようである。教員が生徒に対し

て信念を持って指導しているが、保護者と生徒間で教育方針の理解度に差がみられて、保護者の下降が気になる。継続的に生徒に対して学校方針を伝え、保護者も学校と協力していただくことが必要と考える。

進路指導については、毎年生徒と保護者間でギャップが感じられる。生徒は、面談や日々の中で指導を受けているが、保護者に対しては中3での全体進路説明会のみである。特に保護者アンケートでは、下降傾向であり、三者面談なども利用して保護者には話をしていきたい。

クラブ活動においては、保護者アンケートは、2020年度よりA評価が40%前後で推移しているが、生徒アンケートではA評価が高くなっている。保護者と生徒間でポイントの差があるが、同じような傾向である。

学校行事については、保護者アンケートのB評価の割合が高く、生徒はA評価が2023年度は60%を超えている。直接行事にかかわる生徒の評価が高くなるのは当然だが、中学生になると保護者が学校とかかわる時間が少なくなることから、保護者も関わる行事も検討していきたい。

5 学校関係者評価委員会からの評価結果

(1) 自己評価の結果を受けて

学校関係者評価委員会では、教員の自己評価と重要8項目、続いて2023年度の重点目標について、保護者、生徒対象アンケートの分析を行い、意見交換を行った。

教員対象アンケートでは、委員から、教員の資質向上のための校内外の教員研修について、「教員同士で互いに切磋琢磨し、授業改善を行っているか。」について質問があった。

本校では、公開授業が年1回行われるが、日常的な授業見学は実施できていないのが現状である。その中で、2021年度は、2.92と高いポイントとなった。これは、2022年度から、高校の新課程で「総合的な探究の時間」が導入されることやコロナ禍によるオンライン授業の実施により、教員相互の授業見学が活発に行われたことによると考えられる。2023年度は、低いポイントとなったため、今後、教員の資質向上のための方策を考えていきたい。また、本校独自の個人研修制度を有効に活用する必要があるとの意見も出た。

学校運営では、「ミドルマネジメントによる組織運営」「会議の有効性」で直近3年、ポイントが上昇しており、この項目のポイントが高いのは、教育を担保するには大切なことであると、委員から指摘していただいた。

高校・中学校の保護者対象、生徒対象のアンケート（重要8項目）においては、委員から、生徒対象アンケートのすべての項目で、昨年度より上昇していることに評価を得た。コロナ禍が収束し、日常が戻り、楽しく充実した学校生活が送れていることも一因だと考えられる。

一方、保護者対象アンケートと生徒対象アンケート結果の乖離についても意見交換が行われた。中学生のアンケート結果は、高校生に比べると信頼度が低い可能性もあるが、補習授業などスローラーナーへの取組など学校の取組を保護者が知らないことも考えられるのでメールなどのプッシュ型のツールを使って発信する必要があるとの意見が出された。

また、委員からは、中学校の保護者には、高校入試がないため、目標がなく、生徒の学習意欲が高まらないのではないかとの意見があると指摘があった。この点については、模擬試験を活用し目標設定をしていきたい。

続いて、P2～P6の2023年度の重点目標である ①基礎的・基本的な「確かな学力」を修得し、進路実現を果たす ②「多様な学び」を身に付けた生徒の育成 ③「コミュニケーションの能力を有し、自ら考え判断する力」を養う教育 ④大学とともに取り組む「次世代の人材育成について」について、意見交換を行った。

その中で、中期行動計画でも掲げている探究学習と国際理解教育について意見が出された。探究学習については、社会に出て必要な「人を巻き込む力」を育む取組で、本校の教育に付加価値をつけるものであり、興味深くみているとの意見が出された。国際理解教育では、教員対象アンケートでは、高い評価となっているが、生徒対象アンケートの項目にはない。教員だけでなく生徒が国際化されていると実感することが大切であると指摘があった。これについては、アンケート項目として追加することを検討したい。

最後に、大学との連携において「中高大連携授業の実践」項目のアンケートは、保護者、生徒対象とも、高いポイントになっており、本校の目標を達成しているが、今後も、生徒の大学進学に向けてのモチベーションを上げるために積極的に取り組んでももらいたいと意見がだされた。

(2) アンケート結果について

外部評価委員として2023年度の評価について、2023年度の学校教育計画、中高（教員対象）学校評価、高等学校（保護者対象・生徒対象）学校評価、中学校（保護者対象・生徒対象）学校評価の結果、ならびに本委員会での議論をもとに、以下、意見を述べる。高等学校・中学校の教職員におかれては、今後の検討課題としていただきたい。

重点目標①「基礎的・基本的な『確かな学力』を修得し、進路実現を果たす」については、評価指標である「学力向上」に関する保護者対象アンケートの結果が、肯定率の基準75%に対して、高校80%、中学校77%といずれも基準を上回っており評価できる。また、生徒対象アンケートでも、肯定率の基準80%に対して、高校80%、中学校89%といずれも基準を達成しているが、特に高校は前年度の76%から向上している。

評価指標である「スローラーナーへの対応」に関する保護者対象アンケートの結果は、肯定率の基準70%に対して、高校69%、中学校69%と若干下回っている。生徒対象アンケートでは、肯定率の基準75%に対して、高校72%、中学校88%と高校・中学校の差が大きく、高校では基準を下回っている。本評価指標については前年度も同様の傾向が見られているため、適切なフォローをしてもらっていないと感じている高校生への支援を引き続きお願いしたい。

関西大学への内部進学率は94%と目標（90%以上）を上回っており、また国公立大学への合格者も10名と目標を達成しており、成果が出ていると評価できる。

重点目標②「多様な学びを身に付けた生徒の育成」については、評価指標である授業評価の「生徒参加・対話型の授業」が、肯定率の基準90%に対して、高校95%、中学校92%といずれも基準を上回っており評価できる。また、新たに導入した評価指標である「総合的な探求

の時間」では、生徒が主体的・能動的に学んでいるかを確認できると期待される。良い試みであるため、アンケートの内容や運用について引き続き検討していただきたい。

重点目標③『コミュニケーション能力を有し、自ら考え判断する力』を養う教育については、評価指標である英検合格率は高校3年生において2級が36%、準2級以上が65%、中学3年生において準2級が37%（※1）、3級以上が86%（※2）であり、合格目標（それぞれ60%、85%、40%、85%）と比較して十分に達成できているとはいえない。特に、高校では前年度（2級が58%、準2級以上が84%）からの低下が大きい。生徒のモチベーション向上等の取組をさらにお願ひしたい。また、新設されたグローバルクラスの今後の進展も期待したい。

関連して、「国際化」に関する教員対象アンケートでは、肯定率の基準60%に対して、78%と前年度の64%よりさらに向上しており、高く評価できる。今後は、生徒も国際化を実感しているかが確認できるアンケートについても検討していただきたい。

重点目標④「大学とともに取り組む『次世代の人材育成』」については、評価指標である「中高大連携授業の実践」に関するアンケートの結果は、保護者対象では肯定率の基準85%に対して、高校90%、中学校86%、生徒対象では肯定率の基準85%に対して、高校89%、中学校94%といずれも基準を達成しており評価できる。また、評価指標である「進路指導」に関するアンケートでも、高校保護者対象では肯定率の基準70%に対して結果は78%、生徒対象では肯定率の基準80%に対して結果は85%といずれも基準を達成しており評価できる。引き続き、生徒本人の関心や将来の方向性、実際の学びの内容の間にミスマッチが起こらないよう、丁寧な指導をお願ひしたい。

（関西大学副学長／社会安全学部 教授 高橋智幸）

※1・※2 5ページにある「中学3年生 準2級、3級の達成状況」は、外部委員からの評価後の最終合格率となるが、ここでは、外部委員の意見書を取りまとめる時点での暫定合格率となる。

6 校長の意見書

関西大学北陽高等学校・北陽中学校
校長 田中 敦夫

重点目標 ①基礎的・基本的な「確かな学力」を修得し、進路実現を果たす、②「多様な学び」を身に付けた生徒の育成、③「コミュニケーションの能力を有し、自ら考え判断する力」を養う教育、④大学とともに取り組む「次世代の人材育成」については、既に述べている。ここでは、前年度の外部評価委員からの指摘のあった点を中心に記載することとする。

2022年度より本校のビジョン・政策目標の中で重点的に取り組んでいる「自ら学び、自ら考える力を育てる探究学習の推進」において、「主体的・対話的で深い学び」「探究学習の推進」をキーワードとした授業改善は、委員から高い評価を得た。授業評価「生徒参加・対話型の授業」項目で、2023年度も肯定率90%の目標は達成しており、今後も、社会が求めている課題解決型学力の向上を図っていきたい。また、今年度から評価指標に加えた「総合的な探究の時間」の生徒アンケートをいかしながら、企業・団体と連携し魅力ある探究学習を推進していきたい。

2022年度より重点的に取り組んでいるもう一点「国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成」において、高い英語力の習得を目指しており、その中で、2023年度中学校の英検準2級の取得率目標を15%上げて40%とした。取得率41%で目標を達成し、高い英語力を身に付けた中学生が増加しつつある。ネイティブの授業やオンライン英会話などでアウトプットの機会を増やすとともに、生成AIを有効活用し、ライティングの力もつけていきたい。

2023年度も昨年同様「スローラーナーへの対応」に対する肯定率が高校で保護者・生徒、中学で保護者が未達成となっている。生徒対象アンケートでは、若干上昇したが、本校の取組が保護者に十分伝わっていない点は改善されていない。学校関係者評価委員からも指摘があり、学校と家庭との真摯な意思疎通、学習到達度に係る生徒や保護者の意向・意見の聴取も三者懇談などを通して行っていきたい。

最後に、何が起きているのか（What：実態・事実関係の把握）、なぜそれが起きているのか（Why：因果関係の把握）という点について突き詰めて明らかにしたうえで、特定の改善策（How：政策・施策の提案）の提案を行う。そして「2W1H」という問いに取り組むために、for What と for whom「何のために、誰のために」という問いかけを行い、学校運営方針を策定し、生徒・保護者の期待に応え、魅力的な学校をつくっていきたい。

7 アンケート結果

図表（2019年度～2023年度）

- 【グラフ①】 保護者（高校）対象 「学校評価重要8項目」の推移
- 【グラフ②】 高校生対象 「学校評価重要8項目」の推移
- 【グラフ③】 保護者（中学校）対象 「学校評価重要8項目」の推移
- 【グラフ④】 中学生対象 「学校評価重要8項目」の推移
- 【グラフ⑤】 「学校生活の満足度」の推移
- 【グラフ⑥】 「教育方針・教育目標」と「併設校としての使命」の推移
- 【グラフ⑦】 「学力向上の組織的な取組」と「スローラーナーへの対応」の推移
- 【グラフ⑧】 「保護者との連携」（学習と生徒指導）の推移
- 【グラフ⑨】 「社会規範の理解」と「生徒指導方針の一貫性」の推移
- 【グラフ⑩】 「進路指導体制」の推移
- 【グラフ⑪】 「部活動支援」と「学校行事指導体制」の推移

数表（2023年度）

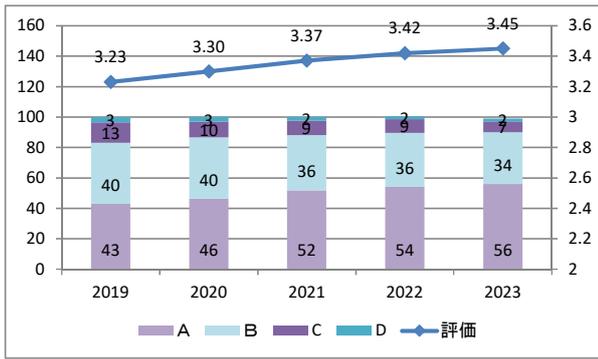
- 資料1—1 学校評価 教員対象アンケート 〈組織〉
- 資料1—2 学校評価 教員対象アンケート 〈個人〉
- 資料1—3 学校評価 教員対象アンケート —「組織」の過去4ヵ年比較—
- 資料1—4 学校評価 教員対象アンケート —「個人」の過去4ヵ年比較—
- 資料2 ① 学校評価 保護者アンケート結果 —高中別—
- 資料2—1 学校評価 保護者対象アンケート結果（高校） —過去4ヵ年比較—
- 資料2—2 学校評価 保護者対象アンケート結果（中学校） —過去4ヵ年比較—
- 資料2 ② 学校評価 生徒対象アンケート結果 —高中別—

- 資料 2—3 学校評価 生徒対象アンケート結果（高校） —過去3ヵ年比較—
- 資料 2—4 学校評価 生徒対象アンケート結果（中学校） —過去3ヵ年比較—
- 資料 3—1 授業評価分析資料（教科別）
- 資料 3—2 授業評価分析資料（高校・中学校別）
- 資料 3—3 「総合的な探究の時間」生徒対象アンケート結果

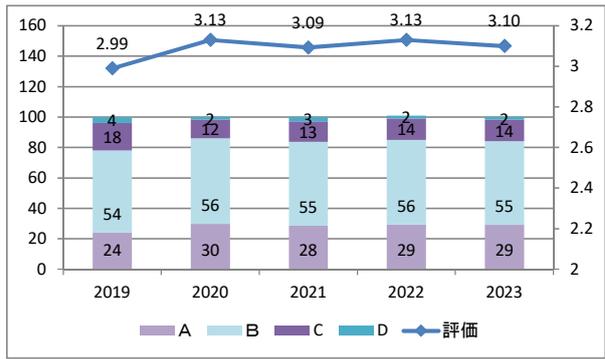
保護者(高校)対象「学校評価重要8項目」の推移 (2019年～2023年)

【グラフ ①】

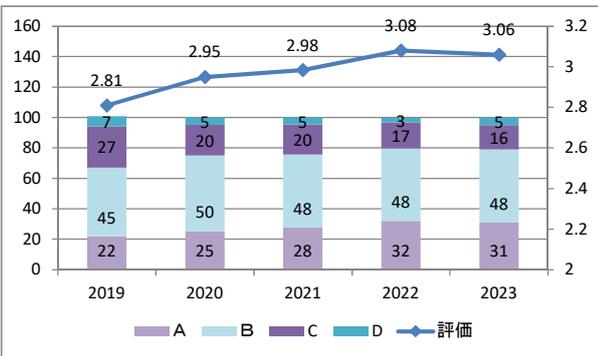
1 ご子女を本校に入学させて良かったと思えますか



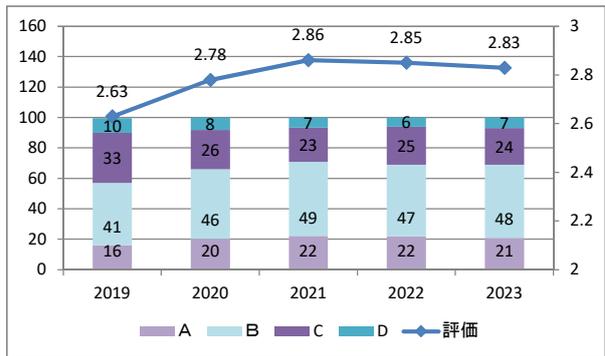
2 本校の教育方針を理解されていますか



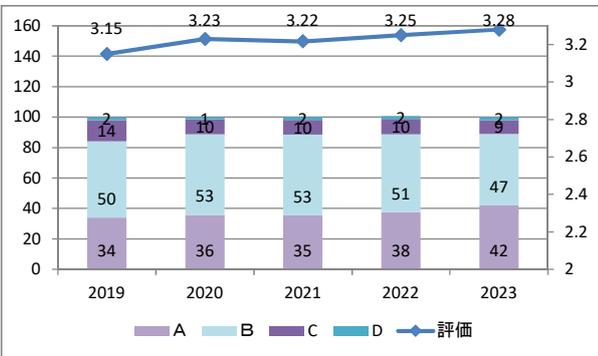
3 学力向上のために組織的な取組を行っていると思えますか



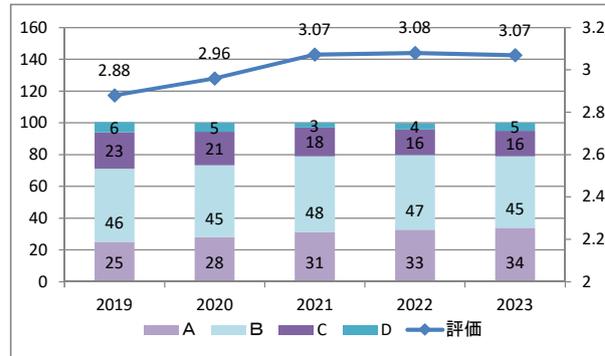
4 補習授業の取組が十分に行われていると思えますか



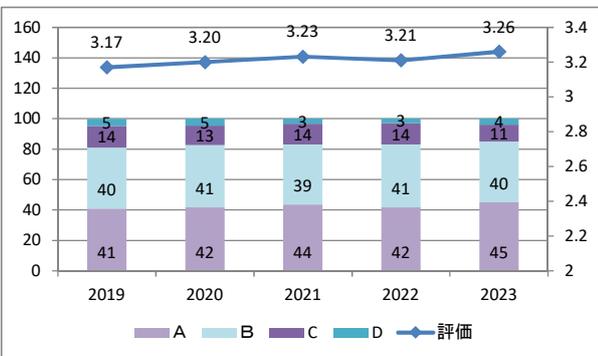
5 マナーやモラルを向上させる取組がされていると思えますか



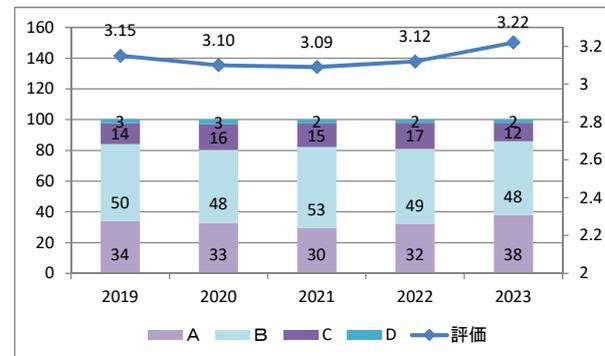
6 きめ細かな進路指導が行われていると思えますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思えますか



8 学校行事に対し学校と保護者が協力できていると思えますか



※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

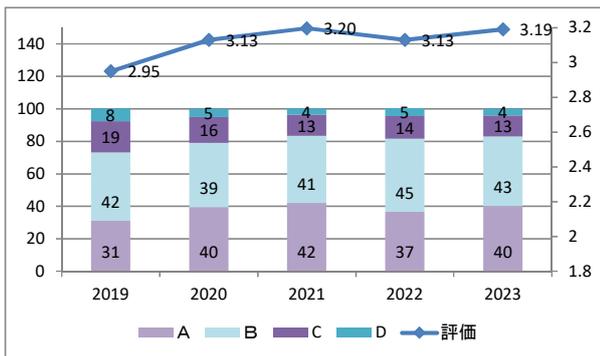
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

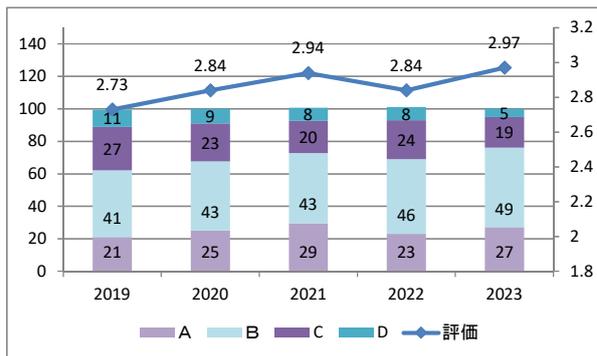
高校生対象「学校評価重要8項目」の推移（2019年～2023年）

【グラフ ②】

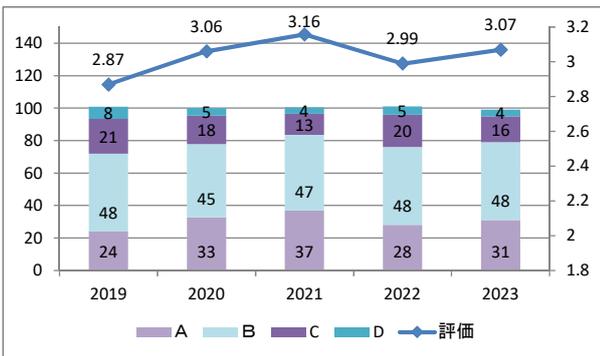
1 この学校に入学して良かったですか



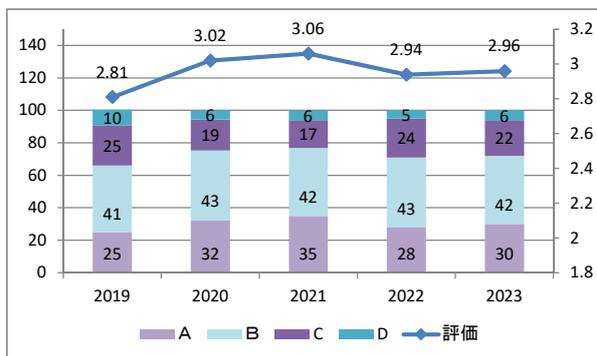
2 学校の教育方針を理解していますか



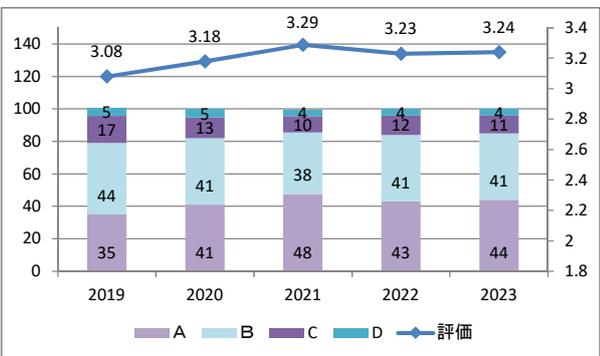
3 自分の学力は向上していると思いますか



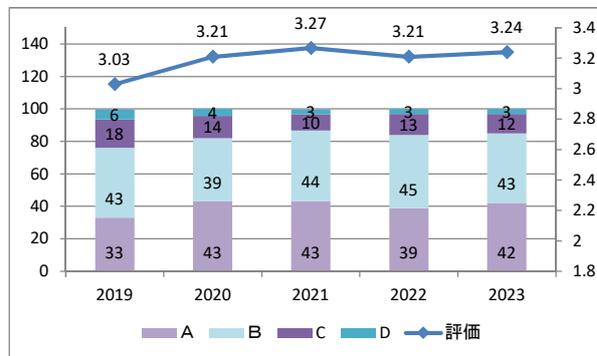
4 補習授業等、適切なフォローがありますか



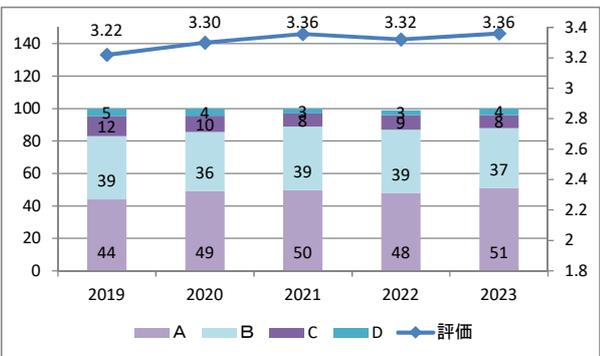
5 ルールやマナーについて指導を受けていますか



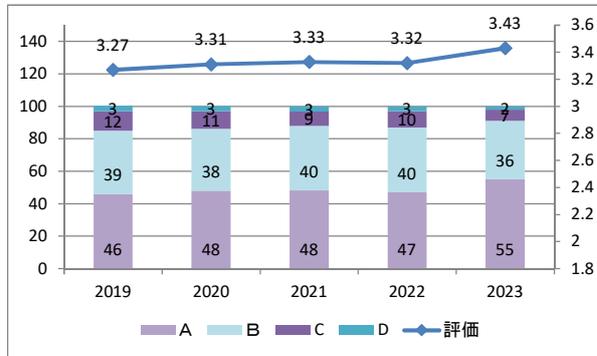
6 きめ細かな進路指導が行われていると感じますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思いますか



8 学校行事に対して学校は支援していると思いますか



※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

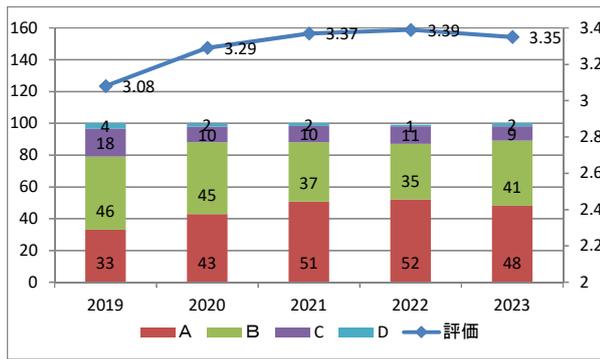
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

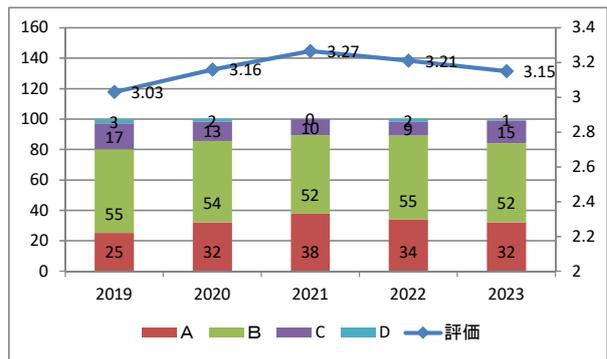
保護者(中学)対象「学校評価重要8項目」の推移 (2019年～2023年)

【グラフ ③】

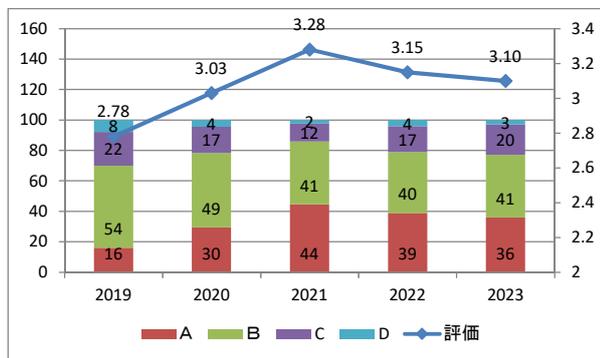
1 ご子女を本校に入学させて良かったと思えますか



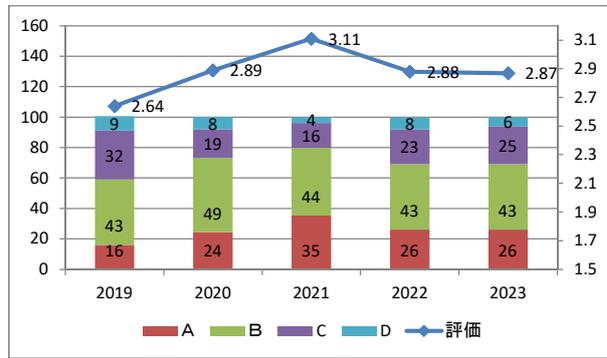
2 本校の教育方針を理解されていますか



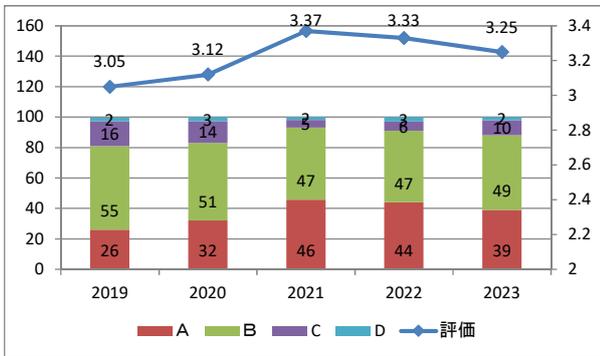
3 学力向上のために組織的な取組を行っていると思えますか



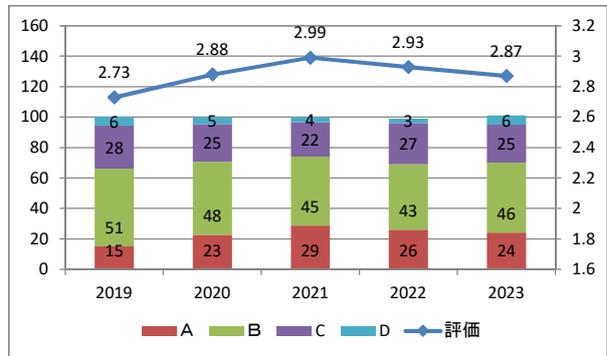
4 補習授業の取組が十分に行われていると思えますか



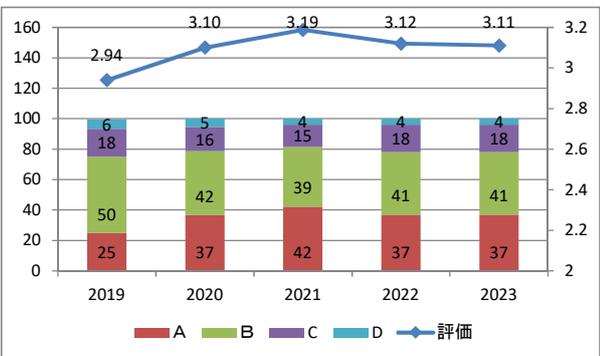
5 マナーやモラルを向上させる取組がされていると思えますか



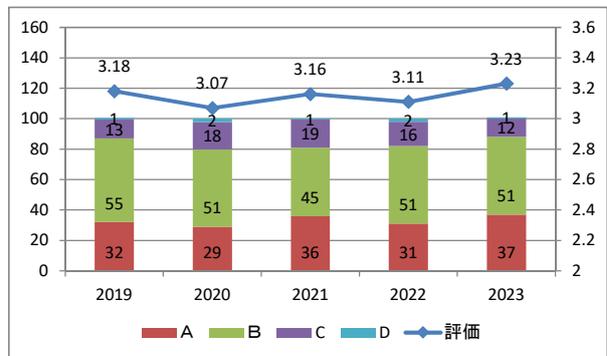
6 きめ細かな進路指導が行われていると思えますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思えますか



8 学校行事に対し学校と保護者が協力できていると思えますか



※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

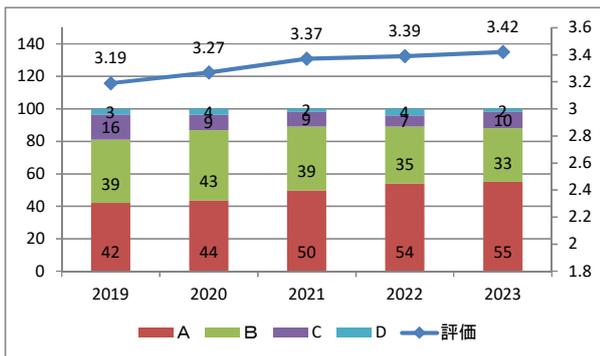
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

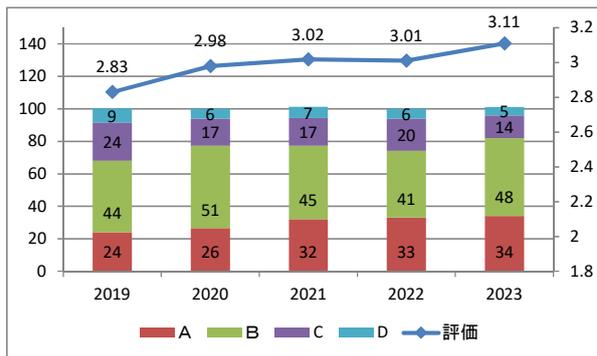
中学生対象「学校評価重要8項目」の推移（2019年～2023年）

【グラフ ④】

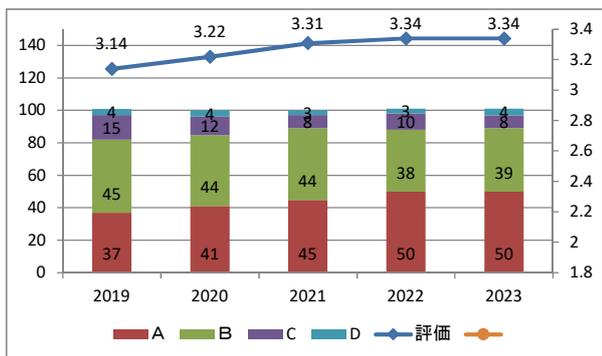
1 この学校に入学して良かったですか



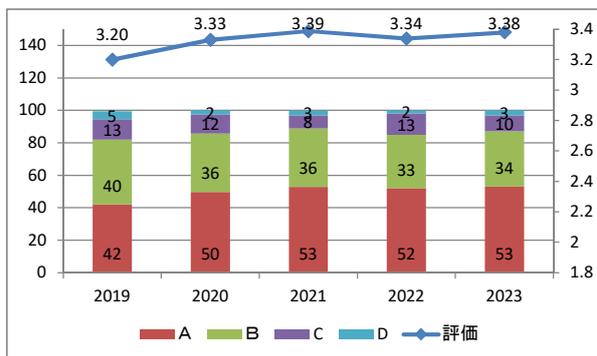
2 学校の教育方針を理解していますか



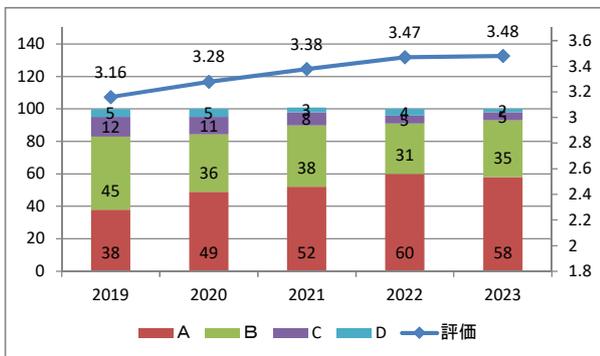
3 自分の学力は向上していると思いますか



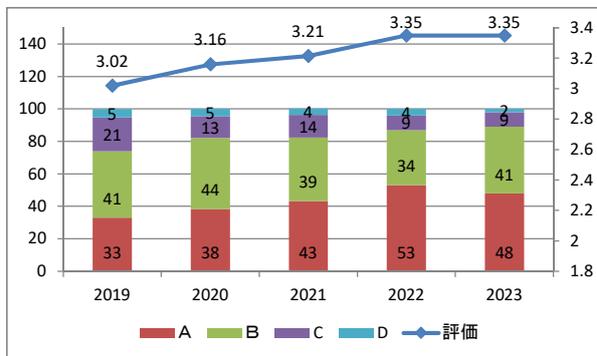
4 補習授業等、適切なフォローがありますか



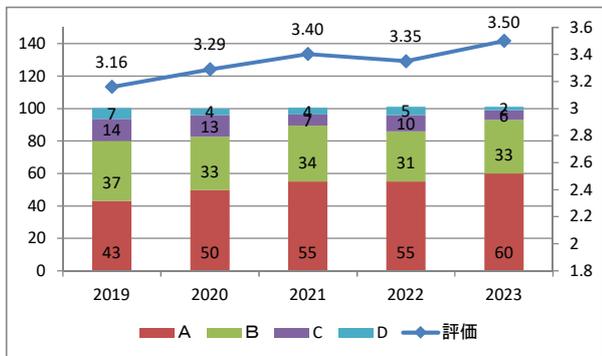
5 ルールやマナーについて指導を受けていますか



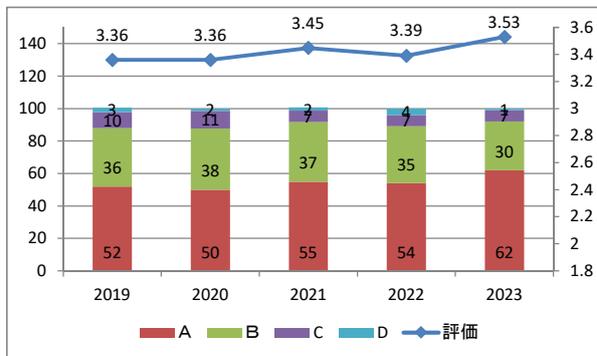
6 きめ細かな進路指導が行われていると感じますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思いますか



8 学校行事に対して学校は支援していると思いますか



※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

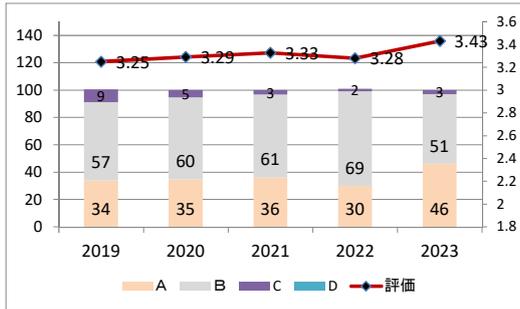
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

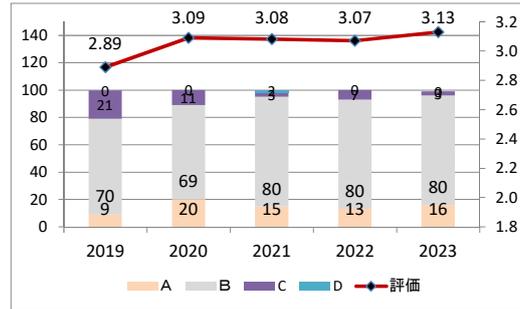
「学校生活の満足度」の推移（2019年～2023年）

【グラフ⑤】

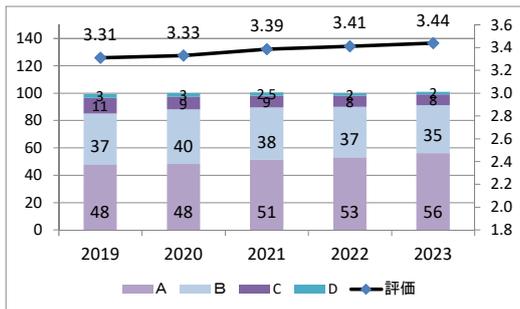
1 本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる(教員組織)



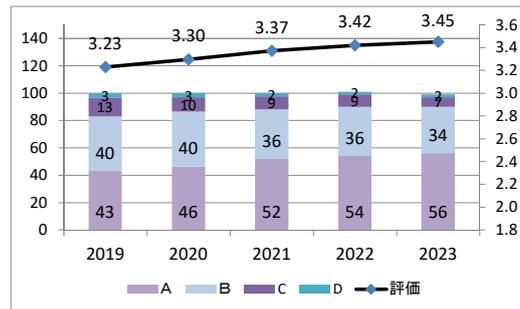
2 本校に入学した生徒・保護者の満足度は高い(教員組織)



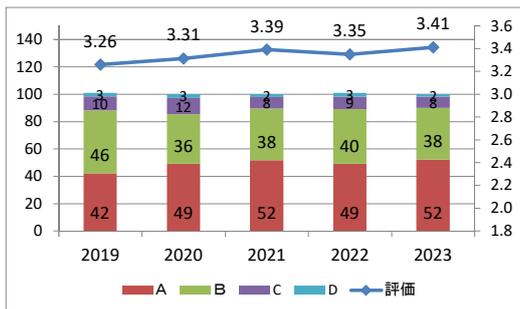
3 生き生きとした学校生活を送っているか(高校保護者対象)



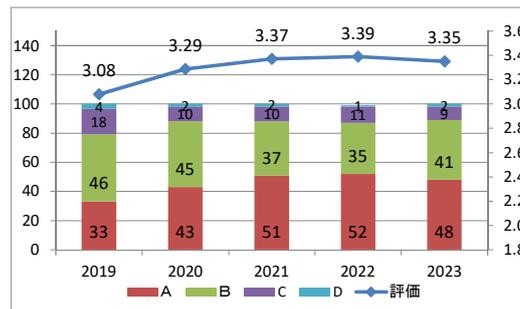
4 本校に入学させて良かったと思われるか(高校保護者対象)



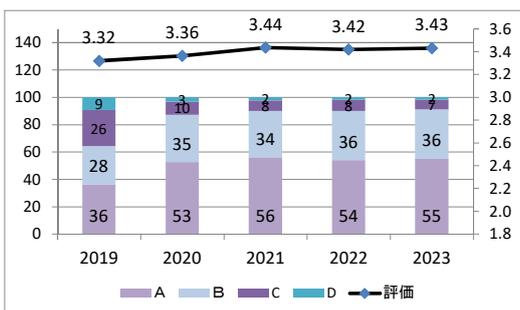
5 生き生きとした学校生活を送っているか(中学校保護者対象)



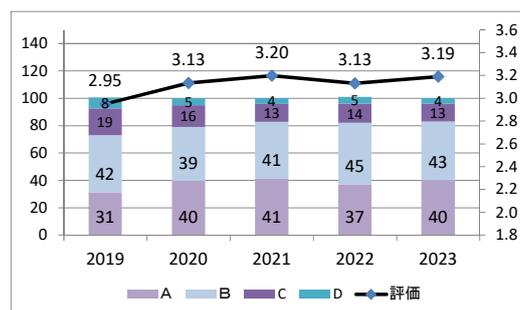
6 本校に入学させてよかったと思われるか(中学校保護者対象)



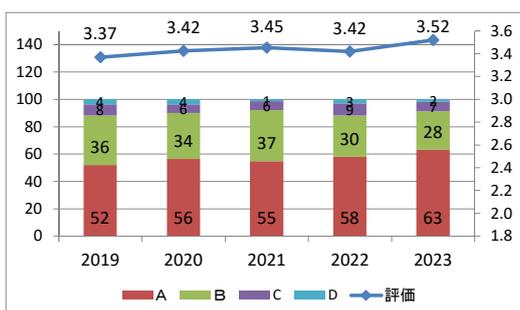
7 学校生活は楽しいと感じているか(高校生対象)



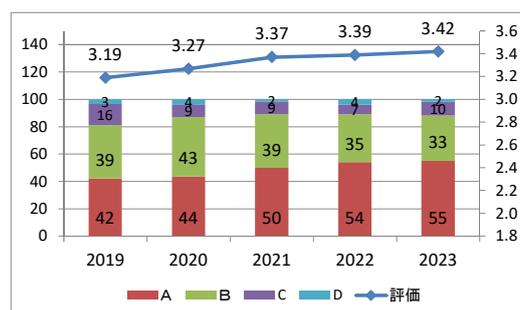
8 本校に入学してよかったと感じているか(高校生対象)



9 学校生活は楽しいと感じているか(中学生対象)



10 本校に入学してよかったと感じているか(中学生対象)



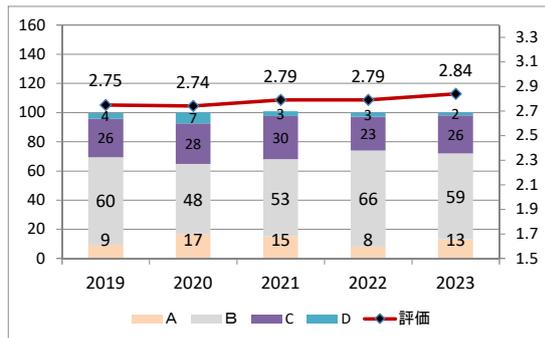
※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。
 評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

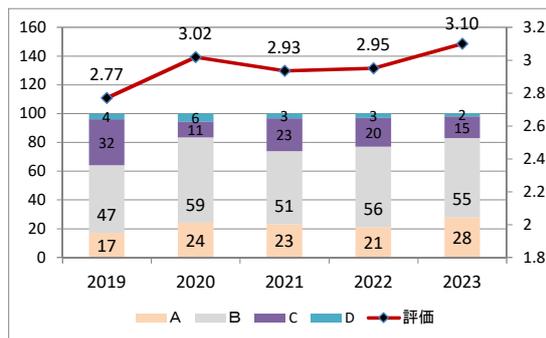
「教育方針・教育目標」「併設校としての使命」の推移（2019年～2023年）

【グラフ⑥】

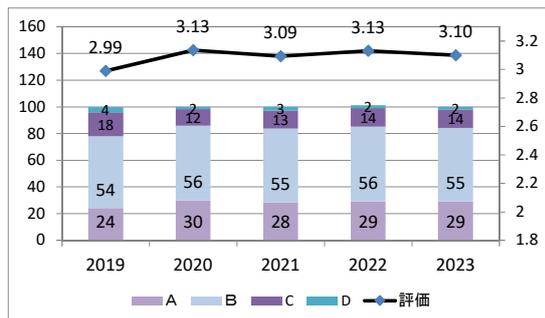
1. 教育方針・教育目標は関係者に浸透していると思うか。（教員組織）



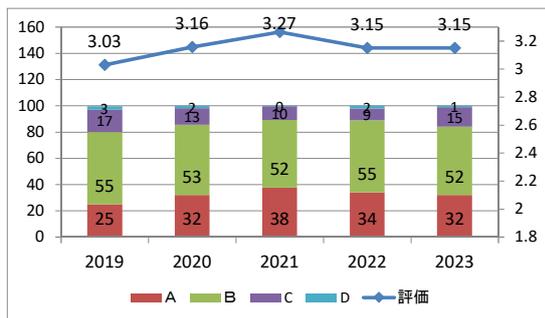
2. 関大と合併した意義と併設校としての使命が浸透しているか。（教員組織）



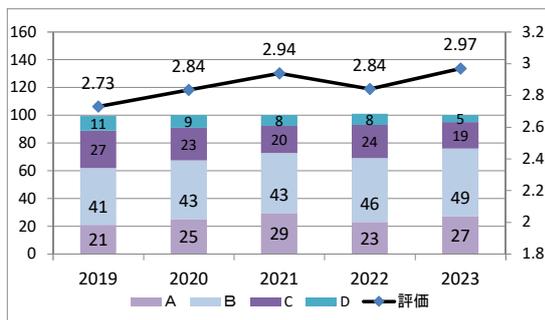
3. 本校の教育方針を理解していますか。（高校保護者対象）



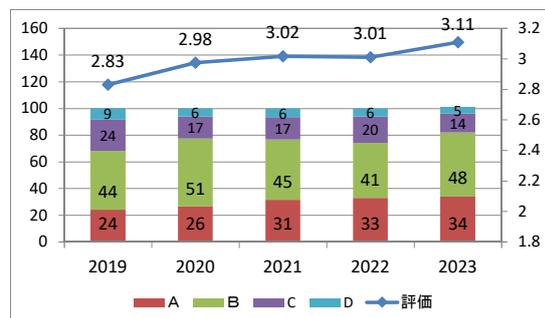
4. 本校の教育方針を理解していますか。（中学校保護者対象）



5. 本校の教育方針を理解していますか。（高校生対象）



6. 本校の教育方針を理解していますか。（中学生対象）

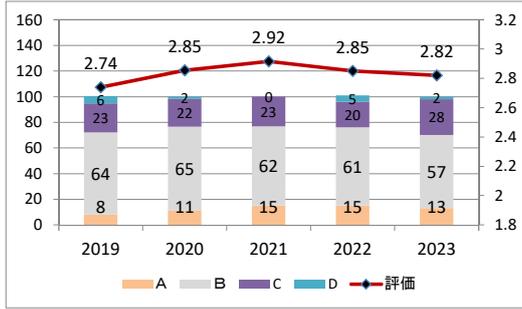


縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。
 評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

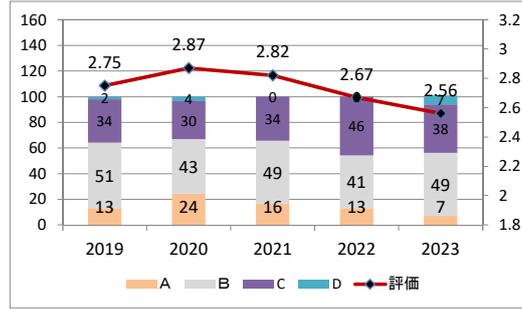
$$\{4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})\} \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

「学力向上の組織的な取組」と「スローラーナーへの対応」の推移（2019年～2023年 【グラフ ⑦】）

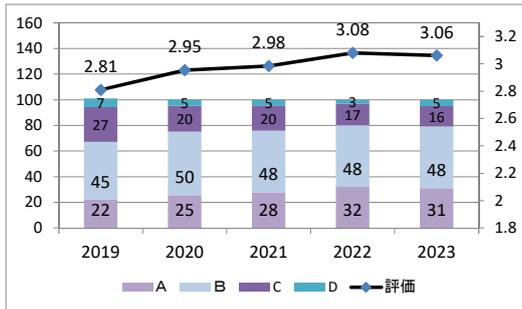
1 学力向上における組織的な取組(教員組織)



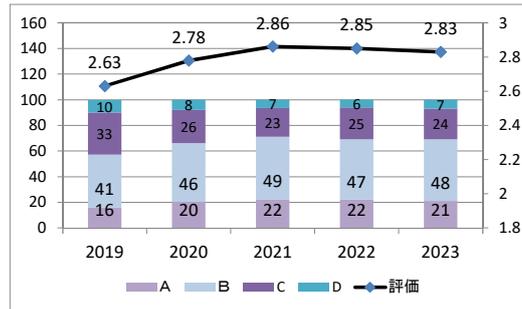
2 スローラーナーへの対応(教員組織)



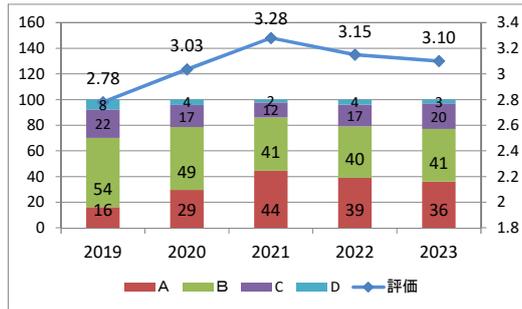
3 学力向上における組織的な取組(高校保護者対象)



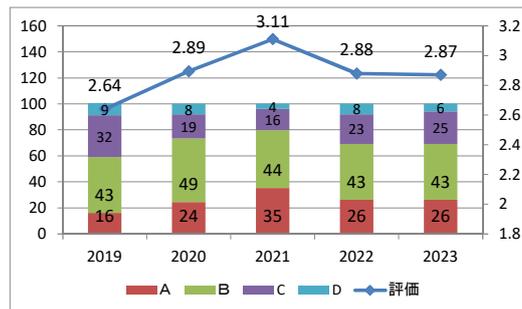
4 スローラーナーへの対応(高校保護者対象)



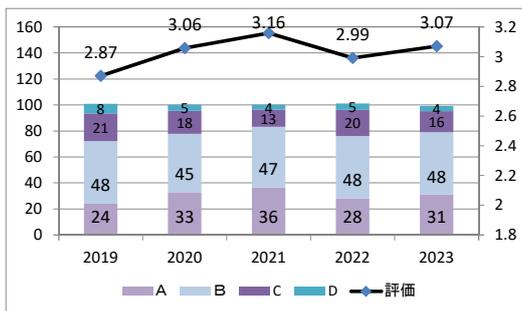
5 学力向上における組織的な取組(中学校保護者対象)



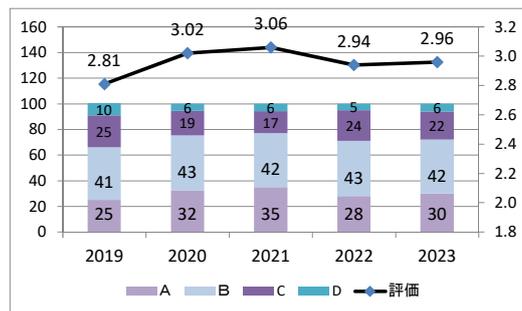
6 スローラーナーへの対応(中学校保護者対象)



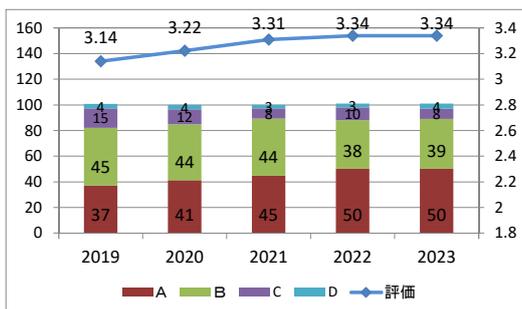
7 自分の学力は向上していると感じているか(高校生対象)



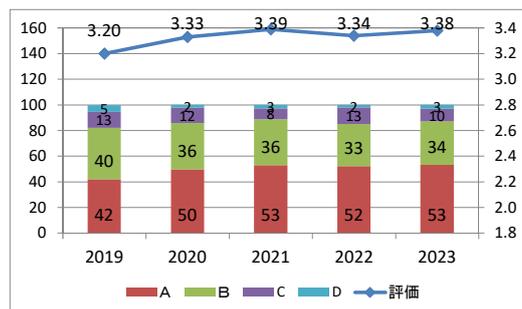
8 適切なフォローをしてもらっていると感じているか(高校生対象)



9 自分の学力は向上していると感じているか(中学生対象)



10 適切なフォローをしてもらっていると感じているか(中学生対象)



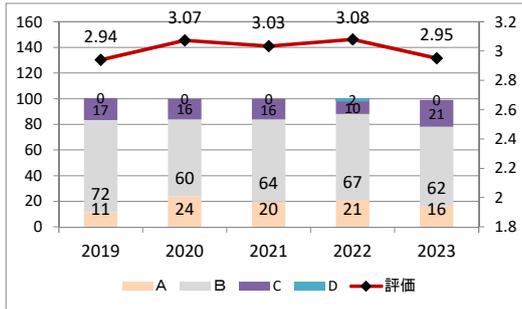
縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

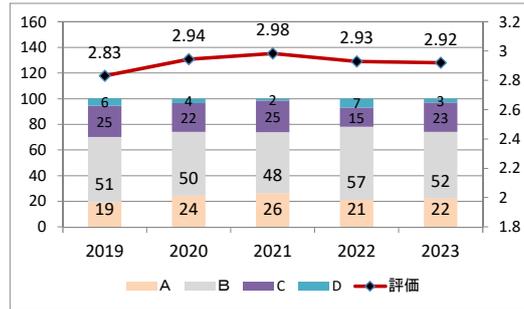
$[4 \times (Aの回答数) + 3 \times (Bの回答数) + 2 \times (Cの回答数) + 1 \times (Dの回答数)] \div (回答総数) = 評価平均値$

「保護者との連携」(学習と生徒指導に関して)の推移 (2019年～2023年) 【グラフ ⑧】

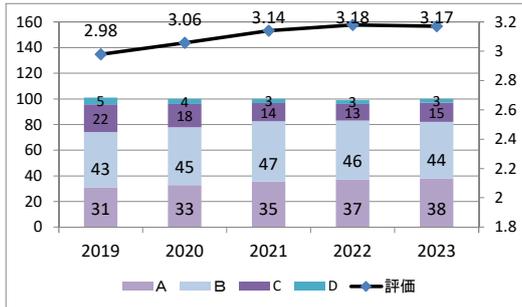
1 学習に関する保護者との連携(教員組織)



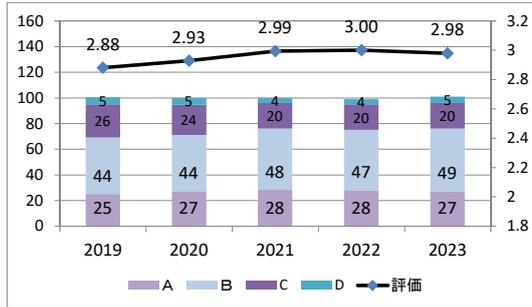
2 生徒指導における保護者との連携(教員組織)



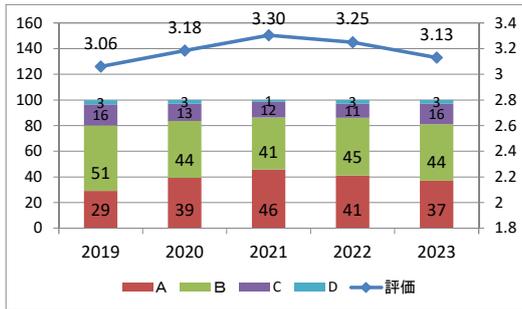
3 学習に関する保護者との連携(高校保護者対象)



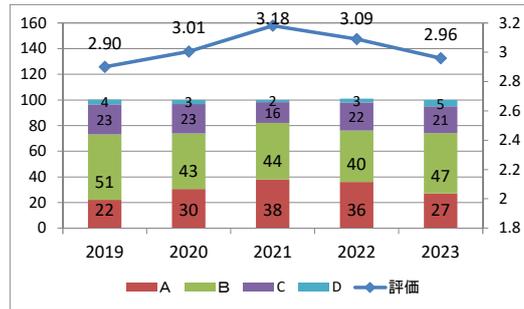
4 生徒指導における保護者との連携(高校保護者対象)



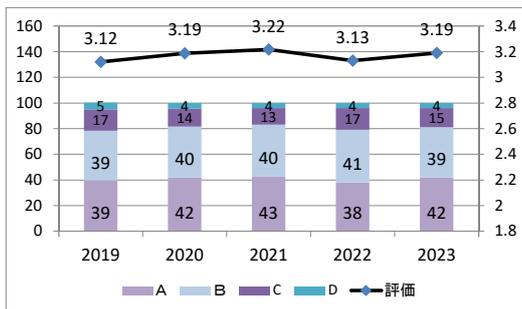
5 学習に関する保護者との連携(中学生保護者対象)



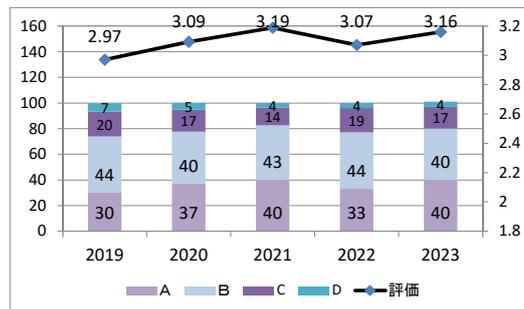
6 生徒指導における保護者との連携(中学校保護者対象)



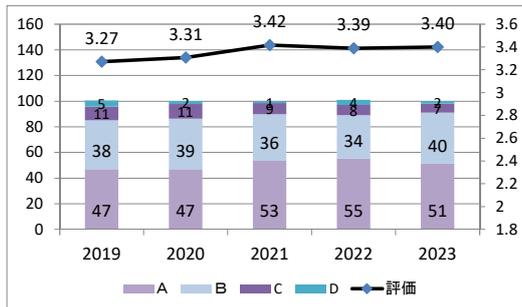
7 学習に関する保護者との連携(高校生対象)



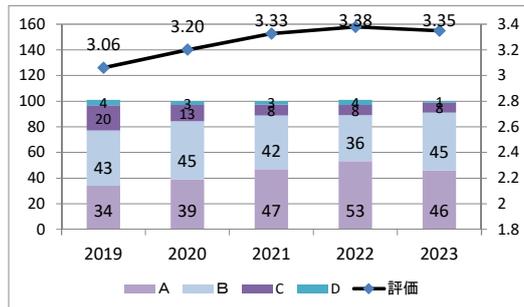
8 生徒指導における保護者との連携(高校生対象)



9 学習に関する保護者との連携(中学生対象)



10 生徒指導における保護者との連携(中学生対象)



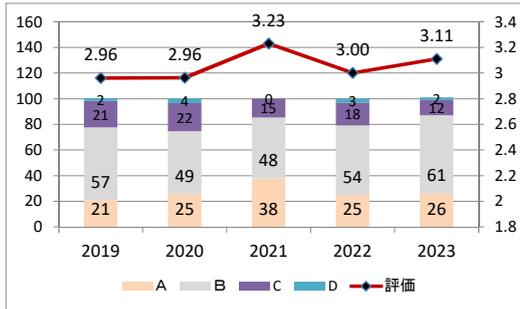
縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

評価平均値は、アンケート回答のA(「思う」)を4、B(「どちらかといえば思う」)を3、C(「どちらかといえばそう思わない」)を2、D(「そう思わない」)を1として、以下の式により算出したもの。

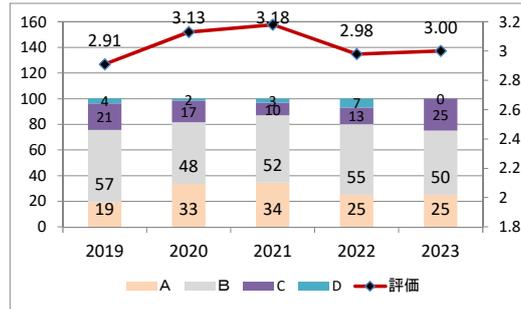
$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

「社会規範の理解」と「生徒指導方針の一貫性」の推移（2019年～2023年） 【グラフ ⑨】

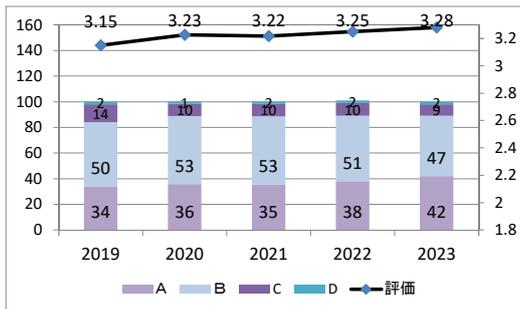
1 社会規範の理解とモラルの醸成(教員組織)



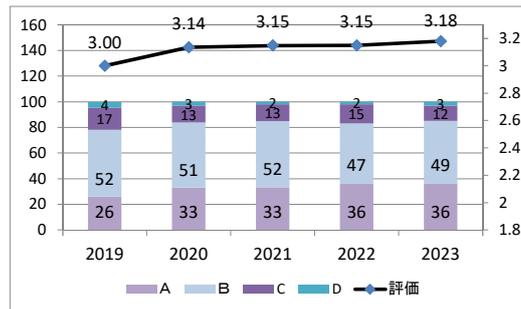
2 生徒指導方針の一貫性(教員組織)



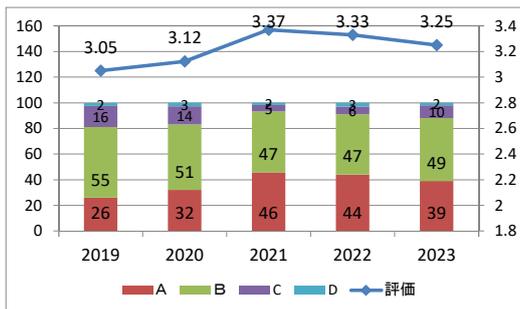
3 社会規範の理解とモラルの醸成(高校保護者対象)



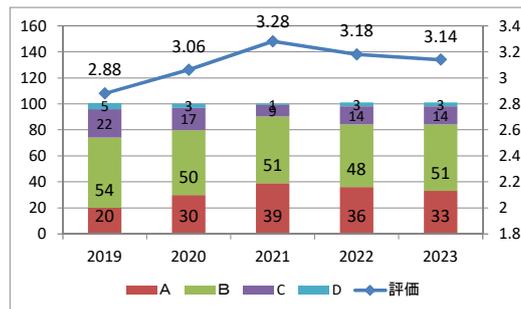
4 生徒指導方針の一貫性(高校保護者対象)



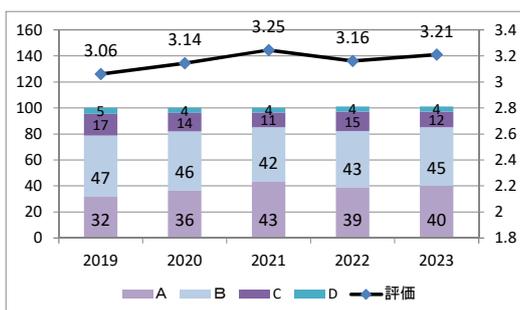
5 社会規範の理解とモラルの醸成(中学校保護者対象)



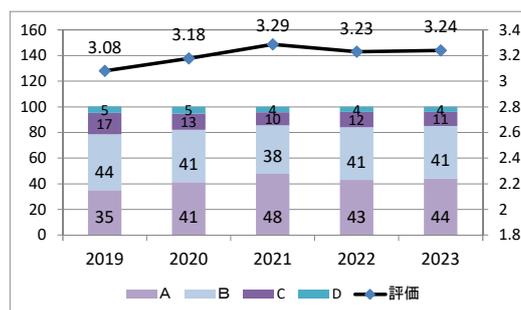
6 生徒指導方針の一貫性(中学校保護者対象)



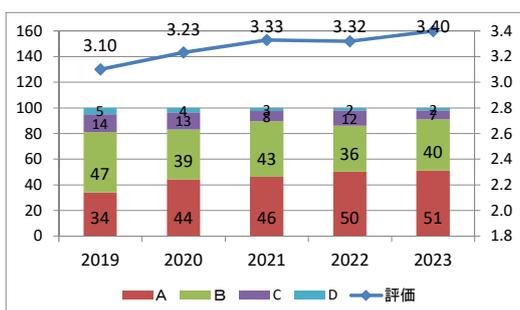
7 社会規範の理解とモラルの醸成(高校生対象)



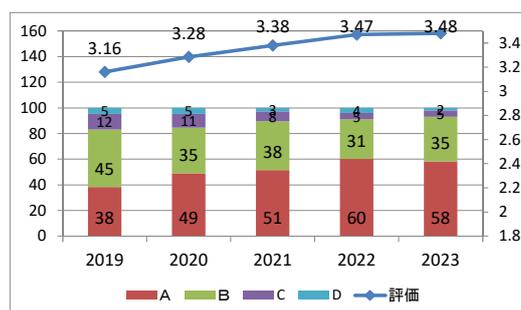
8 生徒指導方針の一貫性(高校生対象)



9 社会規範の理解とモラルの醸成(中学生対象)



10 生徒指導方針の一貫性(中学生対象)



※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。
 評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

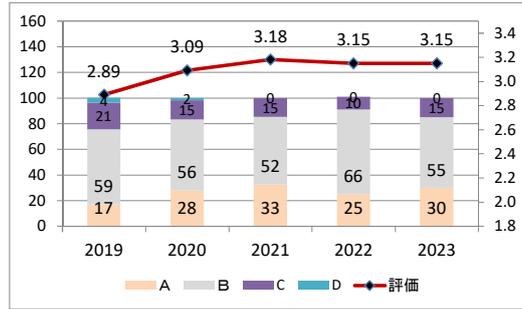
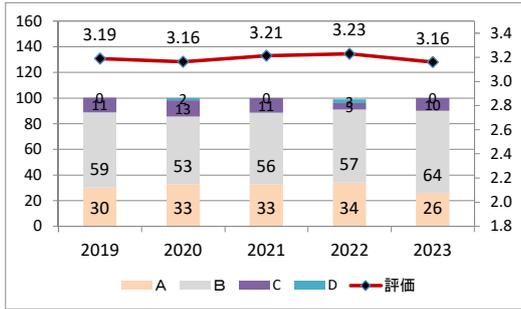
$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

「進路指導体制」の推移（2019年～2023年）

【グラフ ⑩】

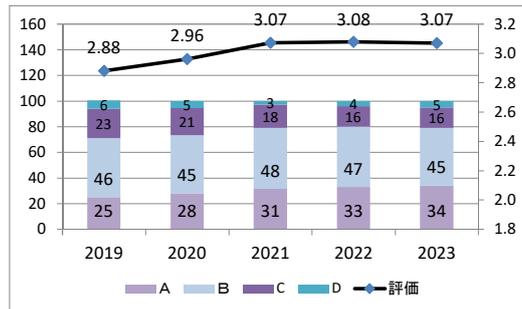
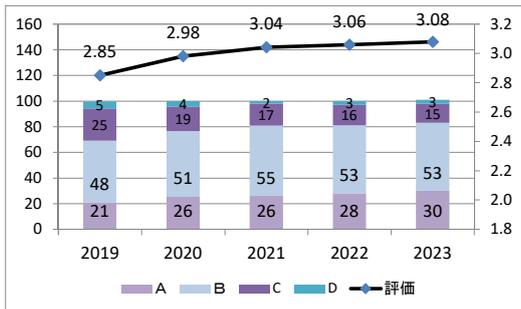
1 生徒・保護者へのカウンセリングの体制を整えている（教員組織）

2 進路を実現させる指導を組織的に行える体制である（教員組織）



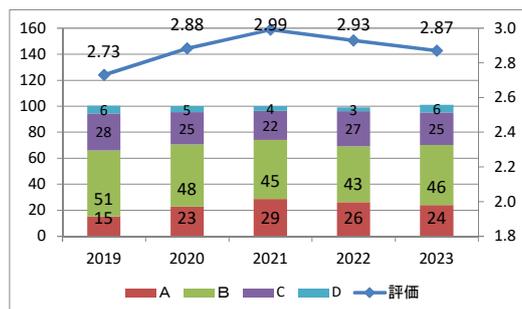
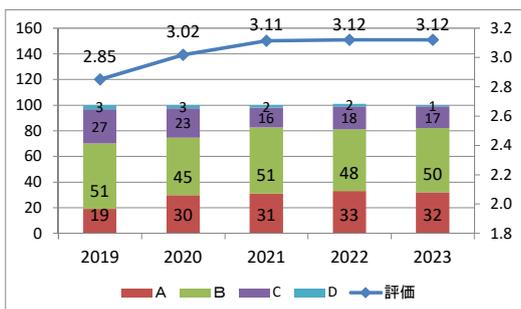
3 カウンセリングを受けられることを知っていますか（高校保護者対象）

4 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか（高校保護者対象）



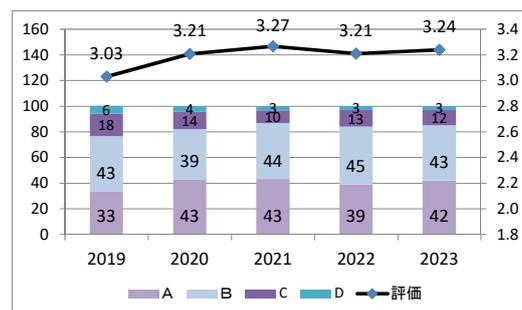
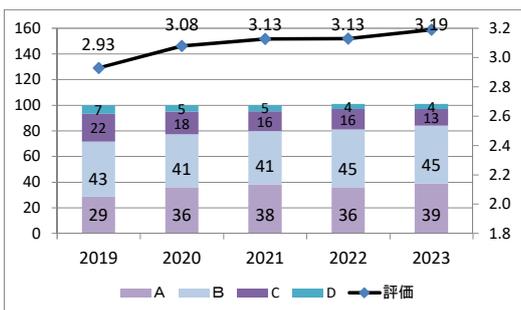
5 カウンセリングを受けられることを知っていますか（中学校保護者対象）

6 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか（中学校保護者対象）



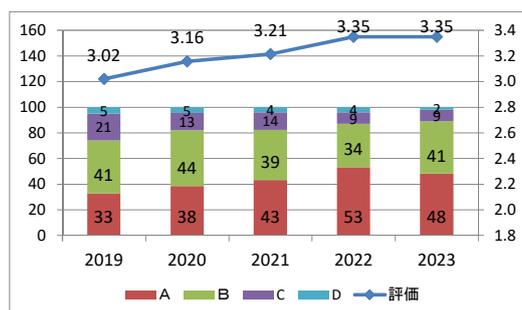
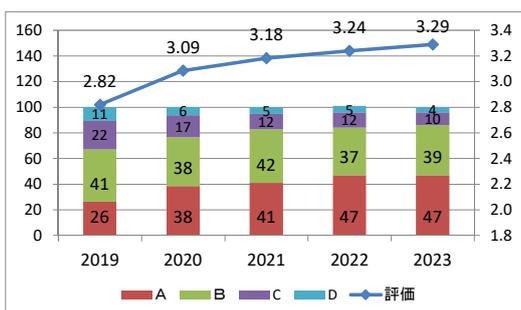
7 カウンセリングを受けられることを知っていますか（高校生対象）

8 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか（高校生対象）



9 カウンセリングを受けられることを知っていますか（中学生対象）

10 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか（中学生対象）



縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

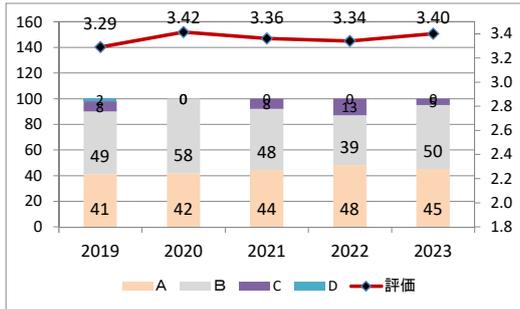
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

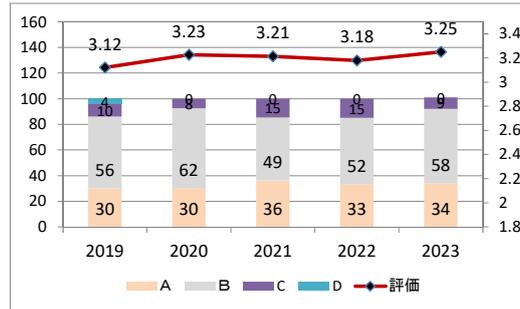
「部活動支援」と「学校行事指導体制」の推移（2019年～2023年）

【グラフ ⑩】

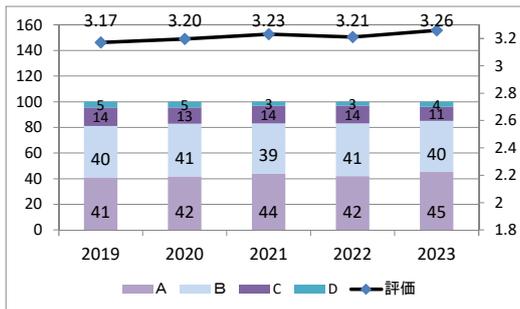
1 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援しているか(教員組織)



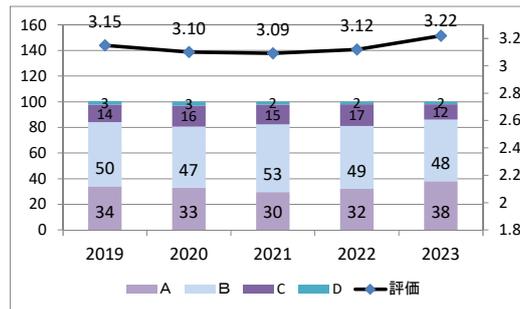
2 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援しているか(教員組織)



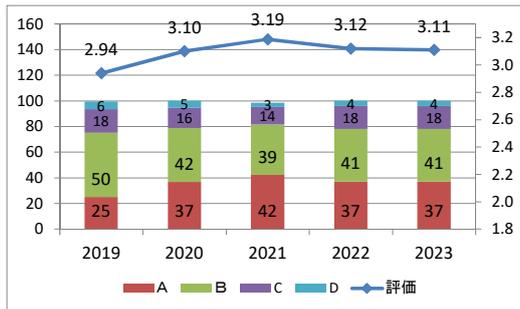
3 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援している(高校保護者対象)



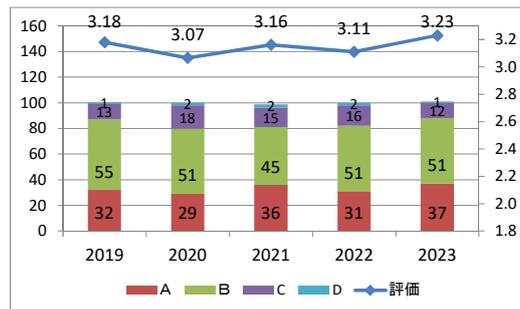
4 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援していると思うか(高校保護者対象)



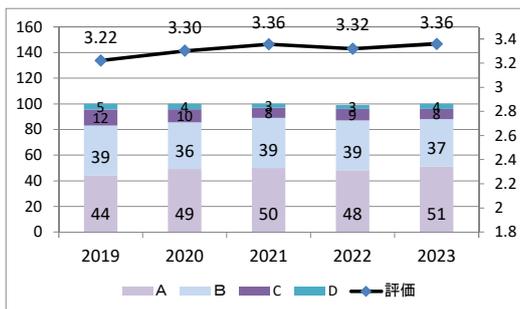
5 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援しているか(中学校保護者対象)



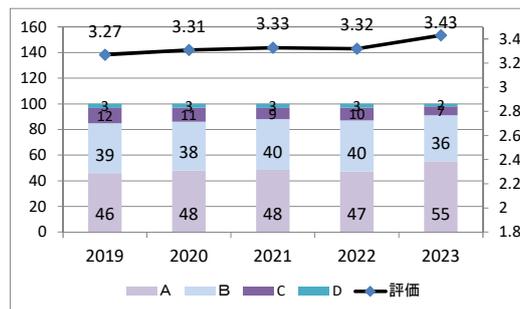
6 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援していると思うか(中学校保護者対象)



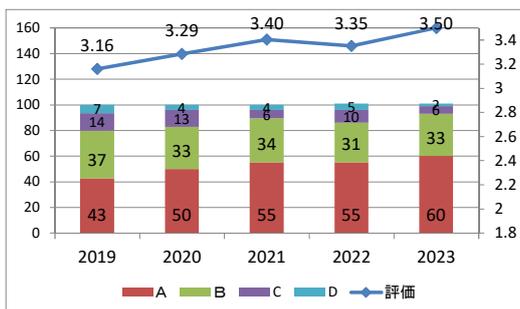
7 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援していると思うか(高校生対象)



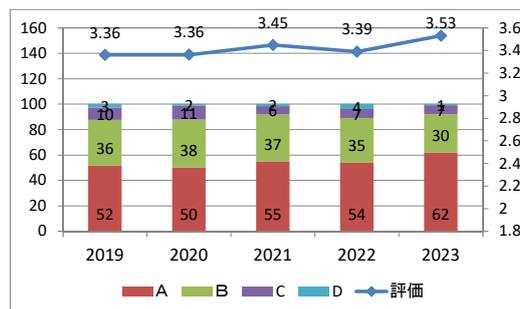
8 学校行事に生徒が積極的に活動できるよう配慮していると思うか(高校生対象)



9 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援していると思うか(中学生対象)



10 学校行事に生徒が積極的に活動できるよう配慮していると思うか(中学生対象)



縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

評価平均値は、アンケート回答のA(「そう思う」)を4、B(「どちらかといえばそう思う」)を3、C(「どちらかといえばそう思わない」)を2、D(「そう思わない」)を1として、以下の式により算出したもの。

$[4 \times (Aの回答数) + 3 \times (Bの回答数) + 2 \times (Cの回答数) + 1 \times (Dの回答数)] \div (回答総数) = 評価平均値$

分類	大項目	No.	小項目	設 問 30項目	評価	A	B	C	D
学校 全般		○ 1		本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる。	3.43	45.9	50.8	3.3	0.0
		○ 2		本校に入学した生徒・保護者の満足度は高い。	3.13	16.4	80.3	3.3	0.0
学校 運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	建学の精神に基づく教育方針・教育目標は教職員・保護者などの関係者によく浸透している。	2.84	13.1	59.0	26.2	1.6
		4	合併の精神・併設校としての使命	関西大学と合併した意義や併設校としての使命が教職員に浸透している。	3.10	28.3	55.0	15.0	1.7
	教職員間連携	5	管理職と教員、教職員同士の連携	管理職と教員あるいは教職員同士の間で信頼関係を築く努力がなされている。	2.78	13.3	56.7	25.0	5.0
		6	ミドルマネジメントによる組織運営	主任(学年・分掌・教科)がミドルアップとミドルダウンに努め、組織運営が活性化している。	2.92	21.7	51.7	23.3	3.3
		○ 7	会議の有効性	職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されている。	2.93	26.2	45.9	23.0	4.9
		8	ハラスメントに関する研修	安心・安全な職場環境を形成するために、ハラスメントに対する注意喚起および定期的な研修が行われている。	2.75	13.3	55.0	25.0	6.7
	情報公開	9	ホームページの活用	本校のホームページは、生徒や保護者にとって知りたい情報を有効に公開している。	3.03	23.3	58.3	16.7	1.7
	危機管理	10	初動対応	事故、事件、災害に対する初動対応が的確に行われる組織になっている。	2.97	26.7	48.3	20.0	5.0
		○ 11	避難訓練や安全対策	警察や消防署と連携し、避難訓練や安全講習会を開くなどの安全対策を講じている。	3.25	42.6	39.3	18.0	0.0
	地域との連携	12	地域連携の推進	自治会や近隣地域に対して、本校の教育活動に理解を得るための取組が行われている。	2.64	16.9	40.7	32.2	10.2
教育 内容	知 育	○ 13	学力向上における組織的な取組	学力向上のための、組織的な取組を行っている。	2.82	13.1	57.4	27.9	1.6
		○ 14	スローラーナーへの対応	学力不足生徒へのフォローのために補習授業や個人指導を行っている。	2.56	6.6	49.2	37.7	6.6
		○ 15	保護者との連携	学習状況の説明や家庭学習の把握のため、保護者との懇談や連絡を密に行っている。	2.95	16.4	62.3	21.3	0.0
	徳 育	○ 16	社会規範の理解とモラルの醸成	生徒に学校や社会のルールを遵守させ、マナーやモラルを向上させる取組を行っている。	3.11	26.2	60.7	11.5	1.6
		○ 17	いじめへの対応	いじめの実態把握に努め、生徒が発する危険信号等を見逃さないようにして早期発見に努める体制が整い、学校組織として共有できている。	3.02	23.0	55.7	21.3	0.0
	18	ボランティア活動の推進	生徒に地域とのつながりを意識させ、清掃活動などの地域貢献が行われている。	2.93	26.7	41.7	30.0	1.7	
	体 育	○ 19	健康な身体づくり	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導を行っている。	3.34	41.0	52.5	6.6	0.0
	人権教育	20	人権に対する指導体制	他者の人権を尊重する教育が計画的に行われている。	3.02	26.7	50.0	21.7	1.7
学校間連携	○ 21	中高大連携事業の実践	高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携が積極的に行われている。	3.20	36.1	47.5	16.4	0.0	
生徒 支援	生徒指導	22	指導方針の一貫性	生徒指導が学校としての明確な方針のもとに行われている。	3.00	25.0	50.0	25.0	0.0
		23	組織的な指導体制・家庭との連携	生徒指導を組織的に行う体制ができており、教員間の意識の統一や家庭との連携も行われている。	2.92	21.7	51.7	23.3	3.3
	○ 24	カウンセリング体制	生徒・保護者へのカウンセリングの体制を整えている。	3.16	26.2	63.9	9.8	0.0	
	進路指導	25	進路指導体制	一人ひとりの進路を実現させる指導を、係を中心として組織的に行える体制ができています。	3.15	30.0	55.0	15.0	0.0
	生徒会活動	26	部活動支援状況	部活動を通じて生徒が成長できるよう学校全体で支援している。	3.40	45.0	50.0	5.0	0.0
27		学校行事指導体制	学校行事を通じて生徒が主体的に活動できるよう、学校と保護者が協力して支援している。	3.25	33.9	57.6	8.5	0.0	
教員研修 資質向上	教員の研修活動	○ 28	校内外における教員研修	本校は、教員の資質向上、生徒の知的好奇心を喚起する授業構成のための校内外の研修体制が充実している。	2.62	11.7	48.3	30.0	10.0
		29	教員相互の資質向上体制	教員間で授業を見学し合い、互いに切磋琢磨して授業力を向上させる取組をしている。	2.46	6.8	45.8	33.9	13.6
その他	国際化	30	国際理解	ALTによる授業、異文化交流あるいは語学研修等により、国際理解を深める体制がある。	3.07	35.6	42.4	15.3	6.8

注：○は併設校共通項目

A～Dの数字は全体に占める割合(%)

「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準 A(4): そう思う B(3): どちらかといえばそう思う C(2): どちらかといえばそう思わない D(1): そう思わない

2.99

2023年度 教員個人の自己評価 点検・評価項目 一人 関西大学北陽高等学校・中学校 【資料1-2】

分類	大項目	No.	設 問	25項目	評価	A	B	C	D
学校運営	私学の独自性	1	教育方針・教育目標	建学の精神、関大北陽の中期ビジョン、教育方針をしっかりと理解をしている。	3.03	23.0	59.0	16.4	1.6
		2	併設校としての使命感	関西大学の併設校としての使命を理解した上で、生徒の指導に携わっている。	3.34	41.0	52.5	6.6	0.0
	教育課程	3	学習指導要領と年間指導計画	教科ごとに作成をしたシラバスに沿って授業を行なっている。	3.48	47.5	52.5	0.0	0.0
	教職員間連携	4	教職員間の連携	教員同士あるいは教員と職員間の相互理解と信頼関係づくりに努めている。	3.23	36.1	54.1	6.6	3.3
		5	会議の有効性	職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されるよう努めている。	3.20	37.7	45.9	14.8	1.6
	危機管理	6	初動対応および報告・連絡・相談	事故、事件、災害に対する的確な初動対応やタイムリーな報告・連絡・相談を行なっている。	3.25	37.7	49.2	13.1	0.0
	分掌と学年	7	分掌における役割	分掌における自分の役割と任務を確実に遂行し、学校運営の改善を図っている。	3.48	50.8	45.9	3.3	0.0
		8	学年における役割	学年における自分の役割と任務を確実に遂行し、学校運営の改善を図っている。	3.25	36.1	52.5	11.5	0.0
教育内容	知 育	9	基礎学力の習得	基礎基本(基礎学力)を身につけさせるために、重要項目の反復練習を十分に行っている。	3.15	31.1	54.1	13.1	1.6
		10	学力向上における組織的な取組	学力向上のために学年、教科として共通して取り組むべきところは協調しながら取り組んでいる。	3.34	41.0	52.5	6.6	0.0
		11	模試や入試問題の活用	模擬試験や大学入試などの問題分析を行い、授業や講習等に反映させている。	2.92	24.6	47.5	23.0	4.9
		12	スローラーナーへの対応	学力不足生徒へのフォローのために補習授業や個人指導を精力的に行っている。	2.51	8.2	42.6	41.0	8.2
		13	授業評価の活用	生徒の教員に対する授業評価を分析し、反省すべき点を把握し、今後の改善を図ろうとしている。	2.92	19.7	55.7	21.3	3.3
		14	保護者との連携	生徒の成績の伸びや学習状況に関して、保護者との懇談や連絡を密に行っている。	2.72	11.5	54.1	29.5	4.9
	徳 育	15	社会規範の理解とモラルの醸成	生徒に対してマナーやモラルの大切さを喚起させ、自らの道徳心を高める努力をしている。	3.31	37.7	57.4	3.3	1.6
	体 育	16	健康な身体づくり	常に生徒の健康管理に気を配り、心身ともに健康な体づくりを促している。	3.28	41.0	47.5	9.8	1.6
	人権教育	17	人権に対する指導体制	生徒の人権を尊重し、対等の互恵関係を築く努力をしている。	3.28	41.0	47.5	9.8	1.6
	学校間連携	18	中高大連携事業の実践	関西大学との教育連携に対する理解を深め、積極的に協力をしている。	3.20	37.7	45.9	14.8	1.6
生徒指導と支援	生徒指導	19	指導方針の一貫性	学校としての生徒指導の方針に従い、個々の生徒に対してしっかりと指導管理ができています。	3.23	32.8	59.0	6.6	1.6
		20	家庭との連携状況	生徒指導において、家庭との連携を密にし、連絡を取り合っている。	3.11	27.9	57.4	13.1	1.6
	進路指導	21	進路指導体制	生徒一人ひとりの個性と能力に合った進路指導を、進路指導係と連携して行っている。	3.11	26.2	60.7	11.5	1.6
	生徒会指導	22	部活動支援状況	生徒が心身ともに成長できるよう、クラブ活動を通して計画的に指導支援をしている。	3.36	45.9	44.3	9.8	0.0
		23	学校行事指導体制	学校行事や生徒会活動において、生徒同士が協力して主体的に活動できるよう指導支援をしている。	3.36	45.9	45.9	6.6	1.6
教員の資質向上	教員研修	24	教員研修体制	学校内外の研修会に積極的に参加をし、教員としての資質を向上させるよう取り組んでいる。	2.69	11.5	50.8	32.8	4.9
		25	教員相互の援助体制	研究授業や授業見学を通して、教員同士で互いに切磋琢磨し、授業改善を図っている。	2.59	11.5	47.5	29.5	11.5
その他	ICT教育	26	ICT教育の推進	iPadやロイノートなどのICTツールを有効に活用している。	3.28	45.9	39.3	11.5	3.3

注:○は併設校共通項目 A~Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準 A(4):そう思う B(3):どちらかといえばそう思う C(2):どちらかといえばそう思わない D(1):そう思わない

学校評価(教員対象) —「組織面の自己評価」の年次比較(過去4力年)— 【資料1-3】

分類	大項目	小項目	教員 組織面の自己評価																						
			NO.	2020年度				2021年度				2022年度				2023年度									
				評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D		
学校全般		学園生活	○	1	3.29	34.5	60.0	5.5	0.0	3.33	36.1	60.7	3.3	0.0	3.28	29.5	68.9	1.6	0.0	3.43	45.9	50.8	3.3	0.0	
			○	2	3.09	20.0	69.1	10.9	0.0	3.08	14.8	80.3	3.3	1.6	3.07	13.1	80.3	6.6	0.0	3.13	16.4	80.3	3.3	0.0	
学校運営	私学の独自性	教育方針・教育目標	○	3	2.74	16.7	48.1	27.8	7.4	2.79	14.8	52.5	29.5	3.3	2.79	8.2	65.6	23.0	3.3	2.84	13.1	59.0	26.2	1.6	
		合併の精神・併設校としての使命		4	3.02	24.1	59.3	11.1	5.6	2.93	23.0	50.8	23.0	3.3	2.95	21.3	55.7	19.7	3.3	3.10	28.3	55.0	15.0	1.7	
	教育課程	学習指導要領と年間指導計画																							
		管理職と教員、教職員同士の間の連携		5	2.76	14.8	50.0	31.5	3.7	2.64	11.5	50.8	27.9	9.8	2.75	13.1	57.4	21.3	8.2	2.78	13.3	56.7	25.0	5.0	
	教職員間連携	ミドルマネジメントの組織運営		6	2.81	22.2	48.1	18.5	11.1	2.74	16.4	50.8	23.0	9.8	2.80	18.0	49.2	27.9	4.9	2.92	21.7	51.7	23.3	3.3	
		会議の有効性	○	7	2.87	23.6	47.3	21.8	7.3	2.77	23.0	39.3	29.5	8.2	2.84	14.8	55.7	27.9	1.6	2.93	26.2	45.9	23.0	4.9	
		ハラスメントに関する研修		8	2.65	9.3	50.0	37.0	3.7	2.66	13.1	45.9	34.4	6.6	2.61	8.2	49.2	37.7	4.9	2.75	13.3	55.0	25.0	6.7	
	情報公開	ホームページの活用	○	9	2.81	14.8	55.6	25.9	3.7	2.85	18.0	54.1	23.0	4.9	3.02	19.7	63.9	14.8	1.6	3.03	23.3	58.3	16.7	1.7	
		初動対応		10	2.78	22.2	44.4	22.2	11.1	2.95	18.0	62.3	16.4	3.3	3.02	29.5	47.5	18.0	4.9	2.97	26.7	48.3	20.0	5.0	
	危機管理	避難訓練や安全対策	○	11	3.40	50.9	38.2	10.9	0.0	3.33	45.9	42.6	9.8	1.6	3.34	44.3	45.9	9.8	0.0	3.25	42.6	39.3	18.0	0.0	
		地域との連携		12	2.68	13.2	49.1	30.2	7.5	2.62	16.4	36.1	41.0	6.6	2.72	14.8	45.9	36.1	3.3	2.64	16.9	40.7	32.2	10.2	
	分掌と学年	分掌における役割																							
学年における役割																									
教育内容	知 育	基礎学力の習得																							
		学力向上における組織的な取組	○	13	2.85	10.9	65.5	21.8	1.8	2.92	15.0	61.7	23.3	0.0	2.85	14.8	60.7	19.7	4.9	2.82	13.1	57.4	27.9	1.6	
		模試や入試問題の活用																							
		スローラーナーへの対応	○	14	2.87	24.1	42.6	29.6	3.7	2.82	16.4	49.2	34.4	0.0	2.67	13.1	41.0	45.9	0.0	2.56	6.6	49.2	37.7	6.6	
	徳 育	授業評価の活用																							
		保護者との連携	○	15	3.07	23.6	60.0	16.4	0.0	3.03	19.7	63.9	16.4	0.0	3.08	21.3	67.2	9.8	1.6	2.95	16.4	62.3	21.3	0.0	
		社会規範の理解とモラルの醸成	○	16	2.96	25.5	49.1	21.8	3.6	3.23	37.7	47.5	14.8	0.0	3.00	24.6	54.1	18.0	3.3	3.11	26.2	60.7	11.5	1.6	
	体 育	いじめへの対応		17	3.22	36.4	50.9	10.9	1.8	3.25	37.7	50.8	9.8	1.6	3.13	27.9	60.7	8.2	3.3	3.02	23.0	55.7	21.3	0.0	
		ボランティア活動の推進		18	2.91	27.8	42.6	22.2	7.4	3.02	26.2	50.8	21.3	1.6	2.97	32.8	34.4	29.5	3.3	2.93	26.7	41.7	30.0	1.7	
	人権教育	健康な身体づくり	○	19	3.35	38.2	58.2	3.6	0.0	3.28	39.3	49.2	11.5	0.0	3.36	41.0	54.1	4.9	0.0	3.34	41.0	52.5	6.6	0.0	
人権に対する指導体制			20	3.04	24.1	59.3	13.0	3.7	3.20	34.4	50.8	14.8	0.0	3.10	21.7	66.7	11.7	0.0	3.02	26.7	50.0	21.7	1.7		
学校間連携	中高大連携事業の実践	○	21	3.05	30.9	47.3	18.2	3.6	3.44	57.4	31.1	9.8	1.6	3.23	39.3	47.5	9.8	3.3	3.20	36.1	47.5	16.4	0.0		
生徒指導	生徒指導	指導方針の一貫性		22	3.13	33.3	48.1	16.7	1.9	3.18	34.4	52.5	9.8	3.3	2.98	25.0	55.0	13.3	6.7	3.00	25.0	50.0	25.0	0.0	
		家庭との連携状況・組織的な指導体制		23	2.94	24.1	50.0	22.2	3.7	2.98	26.2	47.5	24.6	1.6	2.93	21.3	57.4	14.8	6.6	2.92	21.7	51.7	23.3	3.3	
生徒支援	カウンセリング	カウンセリング体制	○	24	3.16	32.7	52.7	12.7	1.8	3.21	32.8	55.7	11.5	0.0	3.23	34.4	57.4	4.9	3.3	3.16	26.2	63.9	9.8	0.0	
		進路指導		25	3.09	27.8	55.6	14.8	1.9	3.18	32.8	52.5	14.8	0.0	3.15	24.6	65.6	9.8	0.0	3.15	30.0	55.0	15.0	0.0	
	生徒会活動	部活動支援状況		26	3.42	41.5	58.5	0.0	0.0	3.36	44.3	47.5	8.2	0.0	3.34	47.5	39.3	13.1	0.0	3.40	45.0	50.0	5.0	0.0	
		学校行事指導体制		27	3.23	30.2	62.3	7.5	0.0	3.21	36.1	49.2	14.8	0.0	3.18	33.3	51.7	15.0	0.0	3.25	33.9	57.6	8.5	0.0	
教員の資質向上	教員の研修活動	校内外における教員研修	○	28	2.57	9.3	46.3	37.0	7.4	2.97	21.3	54.1	24.6	0.0	2.88	16.7	60.0	18.3	5.0	2.62	11.7	48.3	30.0	10.0	
		教員相互の資質向上体制		29	2.60	15.1	37.7	39.6	7.5	2.56	11.5	41.0	39.3	8.2	2.57	10.0	45.0	36.7	8.3	2.46	6.78	45.8	33.9	13.6	
その他	国際化	国際理解		30	2.57	15.4	40.4	34.6	9.6	2.70	21.3	32.8	41.0	4.9	2.80	16.9	47.5	33.9	1.7	3.07	35.6	42.4	15.3	6.8	

注：○は併設校共通項目 A～Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準について A(4):そう思う B(3):どちらかといえばそう思う C(2):どちらかといえばそう思わない D(1):そう思わない

学校評価(教員対象) —「個人面の自己評価」の年次比較(過去4力年)— 【資料1-4】

		教員 個人面の自己評価																						
分類	大項目	小項目	2020年度					2021年度					2022年度					2023年度						
			評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D		
学校全般		学園生活																						
学校運営	私学の独自性	教育方針・教育目標	1	2.95	21.8	52.7	23.6	1.8	3.11	29.5	54.1	14.8	1.6	3.16	21.7	63.3	15.0	0.0	3.03	23.0	59.0	16.4	1.6	
		合併の精神・併設校としての使命	2	3.24	38.2	50.9	7.3	3.6	3.43	50.8	42.6	4.9	1.6	3.31	39.3	55.7	1.6	3.3	3.34	41.0	52.5	6.6	0.0	
	教育課程	学習指導要領と年間指導計画	3	3.35	41.8	50.9	7.3	0.0	3.49	54.1	41.0	4.9	0.0	3.46	50.8	44.3	4.9	0.0	3.48	47.5	52.5	0.0	0.0	
		教職員間連携	教員間連携	4	3.27	38.2	52.7	7.3	1.8	3.26	45.9	36.1	16.4	1.6	3.20	37.7	45.9	14.8	1.6	3.23	36.1	54.1	6.6	3.3
	管理職と教員との連携		5	会議の有効性	3.05	29.1	52.7	12.7	5.5	3.25	39.3	49.2	8.2	3.3	3.16	29.5	60.7	6.6	3.3	3.20	37.7	45.9	14.8	1.6
	ハラスメントに関する研修																							
	情報公開	ホームページの活用																						
	危機管理	初動対応	6	3.29	41.8	49.1	5.5	3.6	3.49	52.5	44.3	3.3	0.0	3.37	43.3	51.7	3.3	1.7	3.25	37.7	49.2	13.1	0.0	
		避難訓練や安全対策																						
	地域との連携	地域連携の推進																						
分掌と学年	分掌における役割	7	3.35	40.7	53.7	5.6	0.0	3.41	49.2	42.6	8.2	0.0	3.39	50.8	41.0	4.9	3.3	3.48	50.8	45.9	3.3	0.0		
	学年における役割	8	3.27	40.0	50.9	5.5	3.6	3.33	42.6	49.2	6.6	1.6	3.28	37.7	52.5	9.8	0.0	3.25	36.1	52.5	11.5	0.0		
教育内容	知 育	基礎学力の習得	9	3.11	27.3	56.4	16.4	0.0	3.23	37.7	49.2	11.5	1.6	3.15	31.1	54.1	13.1	1.6	3.15	31.1	54.1	13.1	1.6	
		学力向上における組織的な取組	10	3.24	36.4	52.7	9.1	1.8	3.38	45.9	45.9	8.2	0.0	3.23	36.1	50.8	13.1	0.0	3.34	41.0	52.5	6.6	0.0	
		模試や入試問題の活用	11	3.05	29.1	47.3	23.6	0.0	3.02	36.1	36.1	21.3	6.6	2.87	21.3	47.5	27.9	3.3	2.92	24.6	47.5	23.0	4.9	
		スローラーナーへの対応	12	2.71	7.3	58.2	32.7	1.8	2.70	19.7	37.7	36.1	6.6	2.52	9.8	39.3	44.3	6.6	2.51	8.2	42.6	41.0	8.2	
		授業評価の活用	13	3.00	23.6	54.5	20.0	1.8	3.10	34.4	44.3	18.0	3.3	2.92	18.0	57.4	23.0	1.6	2.92	19.7	55.7	21.3	3.3	
		保護者との連携	14	3.02	25.5	54.5	16.4	3.6	2.90	24.6	45.9	24.6	4.9	2.93	21.3	57.4	14.8	6.6	2.72	11.5	54.1	29.5	4.9	
	徳 育	社会規範の理解とモラルの醸成	15	3.33	41.8	49.1	9.1	0.0	3.31	44.3	42.6	13.1	0.0	3.25	34.4	55.7	9.8	0.0	3.31	37.7	57.4	3.3	1.6	
		いじめへの対応																						
		ボランティア活動の推進																						
		体 育	健康な身体づくり	16	3.29	41.8	45.5	12.7	0.0	3.39	52.5	36.1	9.8	1.6	3.28	44.3	39.3	16.4	0.0	3.28	41.0	47.5	9.8	1.6
	人権教育	人権に対する指導体制	17	3.31	41.8	49.1	7.3	1.8	3.34	45.9	44.3	8.2	1.6	3.23	37.7	49.2	11.5	1.6	3.28	41.0	47.5	9.8	1.6	
	学校間連携	中高大連携事業の実践	18	3.25	36.4	54.5	7.3	1.8	3.28	41.0	47.5	9.8	1.6	3.15	31.1	54.1	13.1	1.6	3.20	37.7	45.9	14.8	1.6	
生徒指導	生徒指導	指導方針の一貫性	19	3.33	41.8	50.9	5.5	1.8	3.25	37.7	50.8	9.8	1.6	3.31	37.7	57.4	3.3	1.6	3.23	32.8	59.0	6.6	1.6	
		家庭との連携状況	20	3.16	34.5	49.1	14.5	1.8	3.13	32.8	49.2	16.4	1.6	3.13	34.4	47.5	14.8	3.3	3.11	27.9	57.4	13.1	1.6	
		組織的な指導体制																						
生徒支援	カウンセリング	カウンセリング体制																						
	進路指導	進路指導体制	21	3.25	36.4	52.7	10.9	0.0	3.11	34.4	45.9	16.4	3.3	3.18	27.9	62.3	9.8	0.0	3.11	26.2	60.7	11.5	1.6	
		部活動支援状況	22	3.35	49.1	38.2	10.9	1.8	3.30	42.6	45.9	9.8	1.6	3.26	41.0	45.9	11.5	1.6	3.36	45.9	44.3	9.8	0.0	
生徒会活動	学校行事指導体制	23	3.31	38.2	54.5	7.3	0.0	3.30	41.0	49.2	8.2	1.6	3.28	36.1	57.4	4.9	1.6	3.36	45.9	45.9	6.6	1.6		
	教員研修	教員研修体制	24	2.69	16.4	43.6	32.7	7.3	2.90	27.9	37.7	31.1	3.3	2.93	27.9	42.6	24.6	4.9	2.69	11.5	50.8	32.8	4.9	
教員の資質向上		教員相互の援助体制	25	2.73	16.4	49.1	25.5	9.1	2.92	27.9	41.0	26.2	4.9	2.67	16.7	41.7	33.3	8.3	2.59	11.5	47.5	29.5	11.5	
その他	ICT教育	ICT教育の推進	26						3.11	45.9	29.5	14.8	9.8	3.05	31.7	46.7	16.7	5.0	3.28	45.9	39.3	11.5	3.3	
				3.16					3.21					3.14					3.14					

注： A～Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準について A(4):そう思う B(3):どちらかといえばそう思う C(2):どちらかといえばそう思わない D(1):そう思わない

2023年度 学校評価 自己点検・評価項目 保護者対象アンケート ー高中別ー 【資料2①】

		設 問 (保護者対象) 20項目	高等学校					中学校						
			評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D		
1	学園生活	ご子女は、生き生きとした学校生活を送っていると思われませんか。	3.44	55.6	34.7	7.8	1.9	3.41	52.1	38.1	8.2	1.5		
2		保護者として、この学校に入学させて良かったと思われませんか。	3.45	56.4	34.2	7.1	2.3	3.35	48.0	40.7	9.4	1.8		
3	教育方針・教育目標	本校の教育方針・教育目標を理解されていますか。	3.10	28.8	55.4	13.5	2.3	3.15	32.0	52.4	14.9	0.6		
4	HPの活用	本校のホームページは、教育活動を知るために有効だと思われませんか。	3.14	35.1	47.3	15.0	2.6	3.26	39.8	47.7	10.6	1.8		
5	初動対応	事故やトラブルなどに対し、学校は迅速かつ的確な対応が行われていると思われませんか。	3.11	31.9	49.9	15.5	2.7	3.22	40.7	42.9	14.0	2.4		
6	避難訓練や安全対策	避難訓練や安全対策など積極的な対策を講じていると思われませんか。	3.11	29.7	53.5	14.3	2.4	3.16	31.3	54.7	12.8	1.2		
7	学力向上における組織的な取組	本校は学力向上のために組織的な取組を行っていると思われませんか。	3.06	31.2	48.4	16.0	4.5	3.10	36.2	40.7	19.8	3.3		
8	スローラーナーへの対応	習熟度の遅れた生徒へのフォローや補習授業の取組が十分に行われていると思われませんか。	2.83	21.0	47.9	24.4	6.7	2.87	25.9	42.7	25.0	6.4		
9	保護者との連携	学校からの連絡や懇談は緊密に行われていると思われませんか。	3.17	37.7	44.3	14.8	3.2	3.13	36.5	43.8	16.4	3.3		
10	社会規範の理解とモラルの醸成	学校や社会のルールを遵守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取組が行われていると思われませんか。	3.28	42.0	46.6	9.4	2.1	3.25	38.9	49.2	10.0	1.8		
11	いじめへの対応	いじめを許さない学校・学級作りに積極的に取り組んでいると思われませんか。	3.12	29.7	55.4	12.4	2.5	3.02	26.2	53.7	16.5	3.7		
12	健康な身体づくり	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導が行われていると思われませんか。	3.32	42.5	47.9	8.4	1.2	3.40	48.5	44.5	5.8	1.2		
13	中高大連携事業の実践	高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携が積極的に行われていると思われませんか。	3.37	49.2	40.5	9.2	1.1	3.29	44.4	41.3	13.1	1.2		
14	指導方針の一貫性	学校としての明確な方針のもとで生徒指導が行われていると思われませんか。	3.18	36.1	48.5	12.3	3.1	3.14	33.1	50.5	13.7	2.7		
15	家庭との連携状況	日頃から家庭への連絡など積極的に意思疎通を図っていると思われませんか。	2.98	27.0	48.6	19.8	4.7	2.96	27.4	46.6	21.3	4.6		
16	カウンセリング体制	子供に何らかの問題が生じたとき、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談できる体制ができていますか。	3.08	29.5	52.6	14.6	3.3	3.12	32.0	49.7	17.4	0.9		
17	進路指導体制	一人ひとりの進路を実現するために、きめ細かな進路指導が行われていると思われませんか。	3.07	33.6	44.8	16.4	5.2	2.87	23.5	46.0	24.7	5.8		
18	部活動支援状況	クラブ活動を通して生徒の心身の成長が図られるよう学校全体で支援していると思われませんか。	3.26	45.2	39.9	11.3	3.7	3.11	37.1	40.7	18.2	4.0		
19	学校行事指導体制	学校行事に対して生徒が積極的に活動できるよう、学校と保護者が協力して取り組んでいると思われませんか。	3.22	38.1	47.9	11.8	2.2	3.23	36.5	51.1	11.6	0.9		
20	教員研修体制	本校の教員は、教材研究や指導力の向上に努めようとしていると思われませんか。	3.02	27.6	50.6	18.4	3.4	3.03	25.6	54.0	18.3	2.1		
21	事務室の対応	本校の事務室の対応(窓口・電話)は適切であり、誠意をもって対応していると思われませんか。	3.43	53.2	39.0	5.7	2.2	3.36	48.6	41.9	6.1	3.3		
22	家庭への連絡体制	メール配信やホームページなどで学校の情報が家庭へ適切に伝えられている。	3.41	51.4	39.7	7.3	1.6	3.40	50.2	41.3	7.0	1.5		
評価平均			2023年度	3.19						3.17				
			2022年度	3.18						3.20				
			2021年度	3.15						3.25				
			2020年度	3.11						3.10				
			2019年度	3.02						2.99				

2023年度 学校評価 自己点検・評価項目 保護者対象アンケート(高校) ー過去4カ年比較ー 【資料2-1】

				高等学校																			
				2020年度					2021年度					2022年度					2023年度				
分類	大項目	NO	小項目	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.33	48.2	39.8	9.2	2.9	3.39	51.2	38.2	8.6	2.0	3.41	53.2	36.5	8.1	2.3	3.44	55.6	34.7	7.8	1.9
		○ 2		3.30	46.3	40.2	10.4	3.1	3.37	51.8	36.3	9.4	2.5	3.42	54.0	35.5	8.8	1.7	3.45	56.4	34.2	7.1	2.3
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	3.13	29.8	56.1	12.3	1.9	3.09	28.4	55.3	13.4	2.9	3.13	29.2	55.7	13.6	1.5	3.10	28.8	55.4	13.5	2.3
	情報公開	○ 4	HPの活用	3.04	28.7	50.9	16.7	3.7	3.04	30.1	47.9	18.5	3.6	3.16	35.1	48.2	14.9	1.8	3.14	35.1	47.3	15.0	2.6
	危機管理	○ 5	初動対応	3.03	29.5	49.8	15.5	5.2	3.03	29.3	49.6	17.0	4.2	3.16	33.2	52.1	12.1	2.6	3.11	31.9	49.9	15.5	2.7
○ 6		避難訓練や安全対策	3.08	27.4	55.3	14.6	2.7	3.08	27.3	55.5	15.0	2.2	3.12	29.0	55.6	13.9	1.5	3.11	29.7	53.5	14.3	2.4	
教育内容	知 育	○ 7	学力向上における組織的な取組	2.95	25.4	49.6	20.1	4.8	2.98	27.6	48.2	19.5	4.7	3.08	32.0	47.7	16.9	3.3	3.06	31.2	48.4	16.0	4.5
		○ 8	スローラーナーへの対応	2.78	20.2	45.8	25.9	8.1	2.86	22.1	48.8	22.5	6.6	2.85	22.0	46.8	25.3	5.8	2.83	21.0	47.9	24.4	6.7
		○ 9	保護者との連携	3.06	32.6	45.2	18.0	4.2	3.14	35.3	47.1	14.4	3.3	3.18	37.4	46.3	12.9	3.4	3.17	37.7	44.3	14.8	3.2
	徳 育	○ 10	社会規範の理解とモラルの醸成	3.23	35.6	53.1	9.8	1.5	3.22	35.4	53.1	9.6	1.9	3.25	37.5	51.2	9.7	1.6	3.28	42.0	46.6	9.4	2.1
		○ 11	いじめへの対応	3.12	28.1	57.3	13.3	1.4	3.14	30.6	54.5	13.4	1.5	3.16	31.9	53.9	12.3	1.9	3.12	29.7	55.4	12.4	2.5
	体 育	○ 12	健康な身体づくり	3.27	38.5	51.7	8.4	1.3	3.28	39.4	49.8	10.0	0.9	3.30	41.9	47.5	9.6	1.0	3.32	42.5	47.9	8.4	1.2
	学校間連携	○ 13	中高大連携事業の実践	3.16	36.5	45.7	15.4	2.4	3.22	38.2	46.7	13.6	1.5	3.29	43.4	44.6	10.1	2.0	3.37	49.2	40.5	9.2	1.1
生徒指導・生徒支援	生徒指導	○ 14	指導方針の一貫性	3.14	33.0	50.6	13.2	3.1	3.15	33.2	51.6	13.0	2.2	3.15	35.8	46.8	15.1	2.4	3.18	36.1	48.5	12.3	3.1
		○ 15	家庭との連携状況	2.93	27.1	43.9	23.7	5.3	2.99	28.2	47.8	20.0	4.1	3.00	28.3	47.3	20.2	4.1	2.98	27.0	48.6	19.8	4.7
	カウンセリング	○ 16	カウンセリング体制	2.98	25.7	50.7	19.3	4.3	3.04	26.0	54.7	17.1	2.2	3.06	28.3	52.9	16.2	2.6	3.08	29.5	52.6	14.6	3.3
	進路指導	○ 17	進路指導体制	2.96	28.0	45.3	21.2	5.5	3.07	31.3	47.6	18.2	2.9	3.08	32.7	47.0	16.2	4.1	3.07	33.6	44.8	16.4	5.2
	生徒会活動	○ 18	部活動支援状況	3.20	41.7	41.0	12.8	4.5	3.23	43.7	39.3	13.6	3.3	3.21	41.7	41.4	13.6	3.3	3.26	45.2	39.9	11.3	3.7
○ 19		学校行事指導体制	3.10	32.9	47.5	16.4	3.2	3.09	29.5	52.8	15.3	2.4	3.12	32.2	49.3	16.5	2.1	3.22	38.1	47.9	11.8	2.2	
教員研修	教員の研修活動	○ 20	教員研修体制	2.99	26.7	49.5	19.7	4.0	3.03	26.0	53.3	18.1	2.6	3.06	26.8	55.4	15.2	2.7	3.02	27.6	50.6	18.4	3.4
その他	窓口対応	○ 21	事務室の対応	3.45	52.8	41.2	4.7	1.3	3.43	51.4	41.6	6.0	1.0	3.38	46.9	46.4	5.2	1.5	3.43	53.2	39.0	5.7	2.2
		○ 22	家庭への連絡体制	3.35	48.6	40.1	9.1	2.2	3.40	49.1	42.9	6.8	1.2	3.41	51.4	39.7	7.3	1.6					

注：○は併設校共通項目

3.11

3.15

3.18

3.19

評価基準について

A: そう思う B: どちらかといえばそう思う C: どちらかといえばそう思わない D: そう思わない

2023年度 学校評価 自己点検・評価項目 保護者対象アンケート(中学校) ー過去4カ年比較ー 【資料2-2】

				中学校																			
				2020年度					2021年度					2022年度					2023年度				
分類	大項目	NO	小項目	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.31	49.1	36.2	11.9	2.8	3.39	51.6	37.9	8.4	2.1	3.35	49.0	39.5	8.6	2.9	3.41	52.1	38.1	8.2	1.5
		○ 2		3.29	42.8	45.3	9.7	2.2	3.37	50.7	37.3	10.1	1.8	3.39	52.4	35.1	11.2	1.3	3.35	48.0	40.7	9.4	1.8
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	3.16	32.1	53.5	12.6	1.9	3.27	37.6	51.6	10.4	0.3	3.21	34.0	54.8	9.0	2.2	3.15	32.0	52.4	14.9	0.6
	情報公開	○ 4	HPの活用	3.04	32.3	45.5	17.2	5.0	3.17	39.1	41.8	16.1	3.0	3.23	38.5	47.1	12.7	1.6	3.26	39.8	47.7	10.6	1.8
	危機管理	○ 5	初動対応	3.12	32.5	50.0	14.4	3.1	3.32	44.3	45.5	8.1	2.1	3.20	38.7	46.0	12.5	2.9	3.22	40.7	42.9	14.0	2.4
		○ 6	避難訓練や安全対策	3.20	36.4	49.2	12.2	2.2	3.25	38.5	49.6	10.1	1.8	3.23	35.1	53.4	10.9	0.6	3.16	31.3	54.7	12.8	1.2
教育内容	知 育	○ 7	学力向上における組織的な取組	3.03	29.5	48.9	17.2	4.4	3.28	44.5	41.5	11.6	2.4	3.15	39.2	40.4	16.6	3.8	3.10	36.2	40.7	19.8	3.3
		○ 8	スローラーナーへの対応	2.89	24.4	48.8	18.8	8.1	3.11	35.2	44.5	16.4	3.9	2.88	26.2	42.8	23.3	7.7	2.87	25.9	42.7	25.0	6.4
		○ 9	保護者との連携	3.18	39.2	44.2	13.5	3.1	3.30	45.7	40.6	12.2	1.5	3.25	41.4	44.9	11.1	2.5	3.13	36.5	43.8	16.4	3.3
	徳 育	○ 10	社会規範の理解とモラルの醸成	3.12	32.0	51.1	14.1	2.8	3.37	45.7	47.5	5.1	1.8	3.33	44.1	47.0	6.4	2.6	3.25	38.9	49.2	10.0	1.8
		○ 11	いじめへの対応	3.03	26.3	53.1	17.8	2.8	3.22	36.4	50.7	11.3	1.5	3.13	35.4	47.1	12.7	4.8	3.02	26.2	53.7	16.5	3.7
	体 育	○ 12	健康な身体づくり	3.18	32.5	53.8	12.5	1.3	3.35	44.2	47.5	7.5	0.9	3.35	45.0	46.3	7.7	1.0	3.40	48.5	44.5	5.8	1.2
	学校間連携	○ 13	中高大連携事業の実践	3.03	27.5	50.9	18.1	3.4	3.16	34.8	47.6	16.1	1.5	3.19	38.7	43.1	16.6	1.6	3.29	44.4	41.3	13.1	1.2
生徒指導・生徒支援	生徒指導	○ 14	指導方針の一貫性	3.06	29.8	49.8	17.2	3.1	3.28	38.8	51.3	9.0	0.9	3.18	36.3	47.5	13.7	2.5	3.14	33.1	50.5	13.7	2.7
		○ 15	家庭との連携状況	3.01	30.3	43.4	22.8	3.4	3.18	37.9	44.2	16.1	1.8	3.09	35.8	39.9	21.7	2.6	2.96	27.4	46.6	21.3	4.6
	カウンセリング	○ 16	カウンセリング体制	3.02	29.8	44.8	22.9	2.5	3.11	31.0	51.3	15.5	2.1	3.12	32.9	47.9	17.6	1.6	3.12	32.0	49.7	17.4	0.9
	進路指導	○ 17	進路指導体制	2.88	22.6	48.0	24.8	4.7	2.99	28.7	45.4	22.4	3.6	2.93	26.4	43.3	27.1	3.2	2.87	23.5	46.0	24.7	5.8
	生徒会活動	○ 18	部活動支援状況	3.10	36.7	42.0	16.0	5.3	3.19	42.2	39.2	14.7	3.9	3.12	37.4	41.0	17.7	3.9	3.11	37.1	40.7	18.2	4.0
		○ 19	学校行事指導体制	3.07	29.0	50.8	18.0	2.2	3.16	35.8	45.1	18.5	0.6	3.11	31.3	50.5	16.3	1.9	3.23	36.5	51.1	11.6	0.9
教員研修	教員の研修活動	○ 20	教員研修体制	3.03	28.4	50.8	18.0	2.8	3.20	34.6	51.0	13.7	0.6	3.10	31.8	47.5	19.1	1.6	3.03	25.6	54.0	18.3	2.1
その他	窓口対応	○ 21	事務室の対応	3.38	47.6	45.0	6.4	1.0	3.42	51.3	40.3	7.2	1.2	3.32	44.9	45.2	8.3	1.6	3.36	48.6	41.9	6.1	3.3
		○ 22	家庭への連絡体制	3.51	58.3	35.4	5.7	0.6	3.51	58.3	35.4	5.7	0.6	3.40	50.2	41.3	7.0	1.5					

注：○は併設校共通項目

3.10

3.25

3.20

3.17

評価基準について

A: そう思う B: どちらかといえばそう思う C: どちらかといえばそう思わない D: そう思わない

2023年度 学校評価 自己点検・評価項目 生徒対象アンケート ー高中別ー 【資料2②】

	小項目	設 問 (生徒対象) 20項目	高等学校全体					中学校全体				
			評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
1	学園生活	学校生活は楽しいと感じていますか。	3.43	54.6	36.3	6.8	2.4	3.52	62.7	28.3	6.9	2.0
2		この学校に入学して良かったと思いますか。	3.19	40.3	42.8	12.8	4.2	3.42	55.2	32.9	10.1	1.7
3	教育方針・教育目標	本校の教育方針を理解していますか。	2.97	26.7	48.9	19.1	5.3	3.11	33.7	48.0	13.7	4.7
4	HPの活用	本校のホームページは、学校行事などの必要な情報がタイムリーに更新されていますか。	3.20	39.5	44.6	12.8	3.1	3.36	49.1	40.2	8.7	2.0
5	初動対応	事故やトラブルなどに対し、学校は迅速かつ的確な対応が行われていると思いますか。	3.20	39.4	45.0	12.4	3.2	3.39	52.6	35.3	10.7	1.4
6	避難訓練や安全対策	事故、事件、災害が発生したとき、どのように行動すれば良いのか、指示を受けていますか。	3.35	48.2	40.8	8.4	2.6	3.53	60.3	32.8	6.4	0.6
7	学力向上における組織的な取組	授業を通じ、自分の学力は向上していると感じていますか。	3.07	31.3	48.4	16.0	4.3	3.34	49.9	38.6	7.8	3.8
8	スローラーナーへの対応	成績が低迷した場合、補習授業で適切なフォローをしてもらえる仕組みがあると感じていますか。	2.96	29.7	42.1	22.4	5.8	3.38	53.3	34.2	9.9	2.6
9	保護者との連携	自分の学習状況を保護者も把握していると思いますか。	3.19	42.2	38.9	15.1	3.8	3.37	51.2	36.7	10.4	1.7
10	社会規範の理解とモラルの醸成	生徒としてのマナーやモラル向上のための指導によって、規範意識が昨年より高まったと思いますか。	3.21	39.9	45.1	11.5	3.5	3.40	51.2	39.6	7.2	2.0
11	いじめへの対応	いじめを許さない指導が日常的に行われていると思いますか。	3.12	37.4	42.6	14.6	5.4	3.32	48.6	37.0	11.8	2.6
12	健康な身体づくり	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの仕方を学びましたか。	3.35	47.0	42.5	8.5	2.0	3.56	61.2	33.9	4.3	0.6
13	中高大連携事業の実践	高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携があると思いますか。	3.39	52.8	36.1	8.7	2.4	3.60	66.2	27.5	6.1	0.3
14	指導方針の一貫性	守るべき学校のルールやマナーについて、よくわかるように説明と指導を受けていますか。	3.24	44.0	40.5	11.4	4.1	3.48	57.7	35.1	5.2	2.0
15	家庭との連携状況	日頃から家庭への連絡など積極的に意思疎通を図っていると思いますか。	3.16	39.8	40.2	16.5	3.5	3.35	45.7	44.8	8.4	1.2
16	カウンセリング体制	悩みが生じたときに、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談できる体制ができていると思いますか。	3.19	38.7	45.1	12.5	3.8	3.29	47.0	39.1	10.1	3.8
17	進路指導体制	生徒一人ひとりの進路を実現させるために、きめ細かな進路指導を行っていると思いますか。	3.24	42.1	43.3	11.5	3.1	3.35	47.8	41.2	9.0	2.0
18	部活動支援状況	クラブ活動を通して生徒の成長が図られるよう学校全体で支援していると思いますか。	3.36	51.2	37.3	7.8	3.7	3.50	59.5	32.7	6.1	1.7
19	学校行事指導体制	学園祭などの学校行事に対して、生徒が積極的に活動できるように配慮していると感じますか。	3.43	54.6	36.0	7.3	2.1	3.53	61.7	30.1	7.2	0.9
20	校内外における教員研修	工夫された授業やおもしろい実験などが取り入れられていると思いますか。	2.97	31.0	41.9	20.5	6.5	3.42	55.2	33.5	9.0	2.3
21	学習環境	本校の施設・設備において、学習、生活、クラブなどの環境は整っていると思いますか。	3.51	60.9	31.7	5.1	2.3	3.62	68.5	25.6	5.1	0.9

評価平均 2023年度 3.23

3.42

2022年度 3.17

3.37

2021年度 3.22

3.35

2020年度 3.14

3.25

2019年度 3.02

3.13

2023年度 学校評価（生徒対象）アンケート（高校） —3カ年の推移—

【資料2-3】

分類	大項目	NO	小項目	2021年度					学年別評価			2022年度					学年別評価			2023年度					学年別評価		
				評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.44	56.2	33.7	7.7	2.5	3.46	3.40	3.44	3.42	53.7	36.3	8.3	1.6	3.39	3.47	3.41	3.43	54.6	36.3	6.8	2.4	3.38	3.42	3.49
		○ 2		3.20	41.5	41.3	13.1	4.2	3.23	3.10	3.27	3.13	36.5	44.6	14.1	4.7	3.08	3.14	3.18	3.19	40.3	42.8	12.8	4.2	3.15	3.06	3.38
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	2.94	29.5	43.1	19.5	7.9	3.00	2.92	2.90	2.84	23.1	45.7	23.6	7.7	2.77	2.87	2.88	2.97	26.7	48.9	19.1	5.3	2.92	2.89	3.12
	情報公開	○ 4	HPの活用	2.99	33.1	40.2	19.4	7.2	3.13	2.98	2.86	3.07	33.0	46.0	15.7	5.2	3.05	3.08	3.07	3.20	39.5	44.6	12.8	3.1	3.25	3.14	3.20
	危機管理	○ 5	初動対応	3.05	35.5	41.4	16.1	7.0	3.15	3.07	2.93	3.13	35.1	47.1	14.0	3.8	3.15	3.10	3.14	3.20	39.4	45.0	12.4	3.2	3.25	3.15	3.19
		○ 6	避難訓練や安全対策	3.30	46.0	40.6	10.8	2.6	3.29	3.33	3.29	3.32	44.4	44.6	9.5	1.5	3.29	3.28	3.40	3.35	48.2	40.8	8.4	2.6	3.39	3.30	3.34
教育内容	知 育	○ 7	学力向上における組織的な取組	3.16	36.5	46.5	13.2	3.7	3.22	3.09	3.17	2.99	27.8	48.2	19.5	4.5	2.89	3.03	3.08	3.07	31.3	48.4	16.0	4.3	3.05	2.96	3.20
		○ 8	スローラーナーへの対応	3.06	34.9	42.0	17.2	5.8	3.11	3.05	3.01	2.94	27.9	42.9	24.0	5.1	2.79	3.07	2.97	2.96	29.7	42.1	22.4	5.8	2.93	2.80	3.16
		○ 9	保護者との連携	3.22	42.6	40.4	13.0	4.0	3.19	3.24	3.22	3.13	37.9	40.7	17.4	4.0	3.14	3.17	3.07	3.19	42.2	38.9	15.1	3.8	3.21	3.10	3.26
	徳 育	○ 10	社会規範の理解とモラルの醸成	3.25	43.2	41.9	11.3	3.6	3.33	3.23	3.18	3.16	38.5	42.9	14.6	4.0	3.15	3.18	3.15	3.21	39.9	45.1	11.5	3.5	3.27	3.16	3.21
		○ 11	いじめへの対応	3.20	42.4	39.7	13.1	4.7	3.24	3.22	3.14	3.11	35.6	44.0	15.6	4.8	3.04	3.15	3.13	3.12	37.4	42.6	14.6	5.4	3.17	3.04	3.16
	体 育	○ 12	健康な身体づくり	3.34	48.0	40.6	8.5	2.9	3.36	3.31	3.33	3.30	44.6	42.6	10.3	2.5	3.37	3.27	3.24	3.35	47.0	42.5	8.5	2.0	3.43	3.30	3.30
	学校間連携	○ 13	中高大連携事業の実践	3.30	48.3	37.5	10.4	3.7	3.36	3.30	3.25	3.31	49.2	36.1	10.9	3.8	3.39	3.20	3.32	3.39	52.8	36.1	8.7	2.4	3.44	3.40	3.33
生徒指導・生徒支援	生徒指導	○ 14	指導方針の一貫性	3.29	47.5	37.9	10.3	4.2	3.32	3.29	3.26	3.23	43.1	40.6	12.2	4.1	3.23	3.22	3.24	3.24	44.0	40.5	11.4	4.1	3.34	3.15	3.24
		○ 15	家庭との連携状況	3.19	40.0	42.6	13.8	3.7	3.25	3.13	3.18	3.07	33.1	44.3	18.7	3.9	3.00	3.13	3.08	3.16	39.8	40.2	16.5	3.5	3.18	3.07	3.24
	カウンセリング	○ 16	カウンセリング体制	3.13	38.2	41.5	15.5	4.8	3.08	3.11	3.19	3.13	35.7	45.2	15.5	3.7	3.18	3.07	3.14	3.19	38.7	45.1	12.5	3.8	3.22	3.17	3.17
	進路指導	○ 17	進路指導体制	3.27	43.2	43.5	10.0	3.3	3.29	3.26	3.25	3.21	39.4	44.6	13.3	2.7	3.18	3.21	3.23	3.24	42.1	43.3	11.5	3.1	3.31	3.15	3.27
	生徒会活動	○ 18	部活動支援状況	3.36	49.8	39.1	8.1	3.0	3.36	3.31	3.40	3.32	47.9	39.3	9.3	3.4	3.27	3.34	3.35	3.36	51.2	37.3	7.8	3.7	3.39	3.35	3.34
		○ 19	学校行事指導体制	3.33	48.3	39.6	8.8	3.4	3.31	3.39	3.28	3.32	47.3	40.1	9.8	2.8	3.29	3.35	3.32	3.43	54.6	36.0	7.3	2.1	3.48	3.41	3.39
教員研修	教員の研修活動	○ 20	教員研修体制	3.07	35.2	42.3	17.7	4.8	3.06	3.11	3.06	2.96	29.8	43.3	19.0	7.8	2.75	3.09	3.05	2.97	31.0	41.9	20.5	6.5	2.98	2.82	3.13
その他	校内環境	○ 21	学習環境	3.48	58.7	32.8	6.4	2.0	3.46	3.48	3.52	3.45	55.9	34.7	7.7	1.8	3.43	3.44	3.48	3.51	60.9	31.7	5.1	2.3	3.58	3.44	3.52

注：○は併設校共通項目

評価基準について

A(4): そう思う B(3): どちらかといえばそう思う C(2): どちらかといえばそう思わない D(1): そう思わない

2023年度 学校評価(生徒対象)アンケート (中学校) —3カ年の推移—

【資料2-4】

分類	大項目	NO	小項目	2021年度(全学年)					学年別評価			2022年度(全学年)					学年別評価			2023年度(全学年)					学年別評価		
				評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.45	54.7	37.4	6.5	1.5	3.42	3.44	3.50	3.42	57.7	29.9	9.4	3.0	3.55	3.30	3.43	3.52	62.7	28.3	6.9	2.0	3.52	3.64	3.39
		○ 2		3.37	49.7	39.4	9.1	1.8	3.42	3.33	3.35	3.39	53.8	35.4	7.2	3.6	3.54	3.34	3.30	3.42	55.2	32.9	10.1	1.7	3.48	3.49	3.28
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	3.02	31.5	45.3	16.8	6.5	3.00	2.95	3.10	3.01	33.0	40.8	19.8	6.3	3.26	2.83	2.93	3.11	33.7	48.0	13.7	4.7	3.12	3.18	3.03
	情報公開	○ 4	HPの活用	3.22	41.2	44.1	10.3	4.4	3.24	3.15	3.28	3.34	50.3	37.3	8.7	3.6	3.50	3.27	3.26	3.36	49.1	40.2	8.7	2.0	3.33	3.55	3.24
	危機管理	○ 5	初動対応	3.28	43.8	43.8	8.8	3.5	3.38	3.24	3.21	3.41	56.9	31.6	6.6	4.8	3.58	3.30	3.34	3.39	52.6	35.3	10.7	1.4	3.43	3.50	3.25
		○ 6	避難訓練や安全対策	3.51	58.7	34.8	5.3	1.2	3.48	3.53	3.52	3.50	61.6	29.4	6.9	2.1	3.53	3.43	3.56	3.53	60.3	32.8	6.4	0.6	3.46	3.63	3.50
教育内容	知育	○ 7	学力向上における組織的な取組	3.31	44.7	44.4	7.9	2.9	3.35	3.30	3.27	3.34	49.8	37.5	9.6	3.0	3.52	3.26	3.25	3.34	49.9	38.6	7.8	3.8	3.27	3.49	3.29
		○ 8	スローラーナーへの対応	3.39	52.9	35.9	8.2	2.9	3.26	3.43	3.49	3.34	52.3	32.6	12.7	2.4	3.47	3.23	3.32	3.38	53.3	34.2	9.9	2.6	3.46	3.46	3.23
		○ 9	保護者との連携	3.42	53.4	36.3	8.8	1.5	3.35	3.41	3.50	3.39	54.7	33.6	8.1	3.6	3.51	3.32	3.35	3.37	51.2	36.7	10.4	1.7	3.28	3.58	3.29
	徳育	○ 10	社会規範の理解とモラルの醸成	3.33	46.2	43.2	7.9	2.6	3.39	3.28	3.31	3.32	49.7	36.1	11.7	2.4	3.42	3.21	3.33	3.40	51.2	39.6	7.2	2.0	3.38	3.51	3.32
		○ 11	いじめへの対応	3.30	47.1	38.8	10.9	3.2	3.47	3.17	3.23	3.33	53.8	30.6	10.5	5.1	3.52	3.21	3.26	3.32	48.6	37.0	11.8	2.6	3.23	3.51	3.23
	体育	○ 12	健康な身体づくり	3.46	55.6	35.9	7.4	1.2	3.45	3.49	3.45	3.48	56.2	37.2	4.8	1.8	3.61	3.41	3.41	3.56	61.2	33.9	4.3	0.6	3.58	3.67	3.43
	学校間連携	○ 13	中高連携事業の実践	3.39	53.2	34.1	11.2	1.5	3.33	3.45	3.43	3.49	63.4	25.8	7.5	3.3	3.58	3.45	3.45	3.60	66.2	27.5	6.1	0.3	3.59	3.73	3.48
生徒指導・生徒支援	生徒指導	○ 14	指導方針の一貫性	3.38	51.5	37.9	7.6	2.9	3.50	3.31	3.31	3.47	60.1	30.6	5.4	3.9	3.63	3.46	3.30	3.48	57.7	35.1	5.2	2.0	3.50	3.60	3.35
		○ 15	家庭との連携状況	3.33	46.8	42.1	8.2	2.9	3.31	3.33	3.34	3.38	52.9	36.0	7.5	3.6	3.51	3.36	3.27	3.35	45.7	44.8	8.4	1.2	3.25	3.43	3.38
	カウンセリング	○ 16	カウンセリング体制	3.18	40.9	41.8	12.1	5.3	3.13	3.29	3.15	3.24	46.5	36.9	11.5	5.1	3.43	3.11	3.17	3.29	47.0	39.1	10.1	3.8	3.12	3.51	3.28
	進路指導	○ 17	進路指導体制	3.21	43.2	39.1	13.5	4.1	3.20	3.25	3.19	3.35	52.9	34.1	9.4	3.6	3.54	3.23	3.29	3.35	47.8	41.2	9.0	2.0	3.33	3.50	3.24
	生徒会活動	○ 18	部活動支援状況	3.40	55.0	34.4	6.5	4.1	3.50	3.32	3.36	3.35	55.1	30.7	9.6	4.5	3.41	3.35	3.30	3.50	59.5	32.7	6.1	1.7	3.45	3.57	3.49
○ 19		学校行事指導体制	3.45	54.9	36.9	6.5	1.8	3.44	3.39	3.51	3.39	53.8	35.1	7.2	3.9	3.55	3.35	3.26	3.53	61.7	30.1	7.2	0.9	3.60	3.63	3.35	
教員研修	教員の研修活動	○ 20	教員研修体制	3.37	51.2	37.1	9.1	2.6	3.42	3.39	3.31	3.31	51.4	33.0	10.8	4.8	3.56	3.25	3.11	3.42	55.2	33.5	9.0	2.3	3.46	3.57	3.23
その他	校内環境	○ 21	学習環境	3.56	67.1	24.7	5.0	3.2	3.62	3.49	3.54	3.50	64.9	25.2	5.2	4.6	3.58	3.46	3.48	3.62	68.5	25.6	5.1	0.9	3.56	3.73	3.57

注：○は併設校共通項目

評価基準について

4: そう思う 3: どちらかといえばそう思う 2: どちらかといえばそう思わない 1: そう思わない

2023年度 授業評価分析資料(教科別)

2023年11月実施

関西大学北陽高等学校・中学校

【資料3-1】

設問\評価	国語					社会					数学					理科					英語				
	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
自己評価	3.34→3.50→3.47→3.52→3.51					3.45→3.51→3.64→3.56→3.55					3.39→3.46→3.48→3.51→3.44					3.57→3.44→3.57→3.58→3.49					3.36→3.45→3.53→3.49→3.53				
1	3.69	72.2%	25.1%	2.1%	0.6%	3.69	71.6%	26.3%	1.7%	0.5%	3.63	67.3%	29.1%	2.7%	1.0%	3.68	70.9%	26.7%	2.1%	0.2%	3.67	70.7%	26.1%	2.5%	0.7%
2	3.65	70.4%	25.1%	3.7%	0.8%	3.77	78.6%	20.1%	1.3%	0.0%	3.56	63.3%	30.6%	4.9%	1.3%	3.62	69.5%	24.2%	4.9%	1.4%	3.65	67.8%	29.5%	2.0%	0.6%
3	3.20	45.2%	33.8%	17.0%	4.0%	3.18	42.9%	35.7%	17.6%	3.9%	3.14	42.4%	34.9%	16.7%	6.0%	3.18	44.9%	33.3%	17.0%	4.9%	3.29	47.7%	36.3%	13.6%	2.5%
授業評価	3.45→3.61→3.57→3.69→3.56					3.59→3.65→3.75→3.71→3.61					3.46→3.62→3.64→3.66→3.57					3.74→3.62→3.61→3.71→3.71					3.49→3.63→3.67→3.69→3.67				
4	3.51	66.8%	21.0%	8.9%	3.4%	3.64	75.1%	17.6%	4.0%	3.3%	3.39	65.0%	19.8%	4.2%	11.0%	3.74	80.5%	14.4%	3.5%	1.6%	3.66	72.7%	22.0%	3.7%	1.6%
5	3.63	70.7%	23.4%	4.4%	1.5%	3.71	75.8%	20.2%	3.0%	1.0%	3.69	74.0%	21.3%	3.9%	0.7%	3.77	80.9%	16.1%	1.9%	1.2%	3.70	73.5%	23.8%	2.2%	0.4%
6	3.54	65.6%	25.6%	6.3%	2.6%	3.58	67.4%	24.9%	6.4%	1.3%	3.54	66.8%	23.4%	7.3%	2.5%	3.70	75.1%	20.5%	3.3%	1.2%	3.65	70.6%	25.5%	2.8%	1.2%
7	3.45	61.4%	26.9%	7.2%	4.5%	3.61	71.4%	20.4%	6.0%	2.2%	3.54	68.1%	22.1%	6.0%	3.8%	3.69	74.9%	20.5%	3.7%	0.9%	3.68	74.7%	20.5%	3.4%	1.5%
8	3.63	72.5%	20.2%	4.9%	2.4%	3.65	71.7%	22.6%	4.5%	1.2%	3.69	74.7%	21.0%	3.1%	1.3%	3.74	77.9%	19.1%	1.9%	1.2%	3.74	76.6%	21.3%	1.5%	1.8%
9	3.58	67.9%	24.3%	5.8%	2.1%	3.58	68.8%	22.9%	5.7%	2.5%	3.62	69.6%	24.1%	4.8%	1.5%	3.68	74.0%	21.6%	3.3%	1.2%	3.62	69.7%	24.7%	3.8%	1.8%
10	3.60	67.9%	26.2%	4.4%	1.5%	3.66	71.9%	22.9%	4.0%	1.2%	3.68	73.5%	22.0%	3.8%	0.7%	3.74	79.1%	17.4%	2.3%	1.2%	3.74	76.9%	20.3%	2.2%	0.6%
11	3.57	65.9%	27.2%	5.1%	1.7%	3.54	62.9%	30.1%	4.7%	2.3%	3.65	70.3%	25.2%	3.4%	1.1%	3.73	76.3%	21.6%	1.4%	0.7%	3.70	74.6%	22.1%	2.6%	0.7%
12	3.61	69.0%	24.2%	5.4%	1.4%	3.69	74.1%	21.6%	3.3%	1.0%	3.57	66.2%	25.6%	7.2%	1.1%	3.70	75.3%	19.8%	4.4%	0.5%	3.71	75.3%	21.1%	2.6%	1.0%
13	3.64	72.8%	20.3%	4.9%	2.1%	3.61	70.1%	22.5%	5.5%	1.8%	3.58	65.3%	28.3%	5.3%	1.1%	3.73	78.4%	17.0%	3.7%	0.9%	3.70	74.4%	21.9%	2.8%	0.9%
14	3.49	60.3%	30.5%	6.9%	2.3%	3.55	66.1%	25.1%	6.2%	2.7%	3.39	57.9%	26.5%	12.3%	3.2%	3.62	69.3%	25.8%	2.6%	2.3%	3.54	63.9%	27.6%	6.6%	1.9%
15	3.56	66.5%	26.0%	4.9%	2.6%	3.53	64.2%	26.8%	6.7%	2.3%	3.51	62.4%	28.9%	6.3%	2.4%	3.66	73.5%	21.4%	3.0%	2.1%	3.61	67.3%	28.1%	2.9%	1.8%
16	3.49	60.3%	30.6%	6.6%	2.6%	3.57	66.0%	26.8%	5.6%	1.7%	3.53	62.2%	30.6%	4.8%	2.4%	3.68	74.0%	21.5%	3.3%	1.2%	3.61	67.8%	26.9%	3.8%	1.5%

設問\評価	保健体育					芸術					情報					技術・家庭				
	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
自己評価	3.64→3.71→3.74→3.74→3.72					3.55→3.37→3.75→###→3.73					3.80→3.84→3.92→3.72→3.62					3.68→3.74→3.66→3.58→3.73				
1	3.84	85.2%	14.0%	0.6%	0.2%	3.89	89.5%	10.5%	0.0%	0.0%	3.74	78.3%	17.4%	4.3%	0.0%	3.84	84.3%	15.7%	0.0%	0.0%
2	3.79	81.0%	17.4%	1.4%	0.2%	3.87	86.8%	13.2%	0.0%	0.0%	3.83	82.6%	17.4%	0.0%	0.0%	3.87	87.1%	12.9%	0.0%	0.0%
3	3.52	63.1%	28.2%	6.6%	2.1%	3.42	51.3%	39.5%	9.2%	0.0%	3.30	39.1%	52.2%	8.7%	0.0%	3.49	58.6%	32.9%	7.1%	1.4%
授業評価	3.72→3.75→3.80→3.80→3.79					3.66→3.44→3.80→###→3.86					3.80→3.89→3.94→3.77→3.81					3.72→3.73→3.62→3.61→3.81				
4	3.81	84.6%	12.5%	2.4%	0.5%	3.97	97.4%	2.6%	0.0%	0.0%	3.96	95.7%	4.3%	0.0%	0.0%	3.94	94.3%	5.7%	0.0%	0.0%
5	3.83	84.8%	13.4%	1.4%	0.3%	3.87	89.5%	7.9%	2.6%	0.0%	3.83	82.6%	17.4%	0.0%	0.0%	3.84	84.3%	15.7%	0.0%	0.0%
6	3.74	78.1%	18.6%	2.2%	1.1%	3.88	89.5%	9.2%	1.3%	0.0%	3.78	82.6%	13.0%	4.3%	0.0%	3.80	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
7	3.74	80.5%	15.4%	2.1%	2.1%	3.89	89.5%	10.5%	0.0%	0.0%	3.91	91.3%	8.7%	0.0%	0.0%	3.81	82.9%	15.7%	1.4%	0.0%
8	3.80	82.6%	15.4%	1.6%	0.5%	3.87	86.8%	13.2%	0.0%	0.0%	3.87	87.0%	13.0%	0.0%	0.0%	3.77	77.1%	22.9%	0.0%	0.0%
9	3.84	85.1%	13.9%	0.6%	0.3%	3.89	89.5%	10.5%	0.0%	0.0%	3.78	78.3%	21.7%	0.0%	0.0%	3.86	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%
10	3.79	81.4%	16.5%	1.3%	0.8%	3.91	90.8%	9.2%	0.0%	0.0%	3.91	91.3%	8.7%	0.0%	0.0%	3.84	84.3%	15.7%	0.0%	0.0%
11	3.74	79.2%	17.1%	2.4%	1.3%	3.89	89.5%	10.5%	0.0%	0.0%	3.78	78.3%	21.7%	0.0%	0.0%	3.79	80.0%	18.6%	1.4%	0.0%
12	3.85	86.6%	12.2%	1.0%	0.3%	3.76	77.6%	21.1%	1.3%	0.0%	3.70	73.9%	21.7%	4.3%	0.0%	3.74	75.7%	22.9%	1.4%	0.0%
13	3.74	77.9%	19.4%	1.9%	0.8%	3.75	76.3%	22.4%	1.3%	0.0%	3.65	69.6%	26.1%	4.3%	0.0%	3.69	70.0%	28.6%	1.4%	0.0%
14	3.79	81.4%	16.6%	1.4%	0.5%	3.74	75.0%	23.7%	1.3%	0.0%	3.74	73.9%	26.1%	0.0%	0.0%	3.79	81.4%	15.7%	2.9%	0.0%
15	3.80	81.6%	16.6%	1.4%	0.3%	3.87	86.8%	13.2%	0.0%	0.0%	3.74	73.9%	26.1%	0.0%	0.0%	3.83	84.3%	14.3%	1.4%	0.0%
16	3.77	81.1%	15.7%	2.4%	0.8%	3.89	89.5%	10.5%	0.0%	0.0%	3.83	82.6%	17.4%	0.0%	0.0%	3.83	82.9%	17.1%	0.0%	0.0%

※自己評価と授業評価

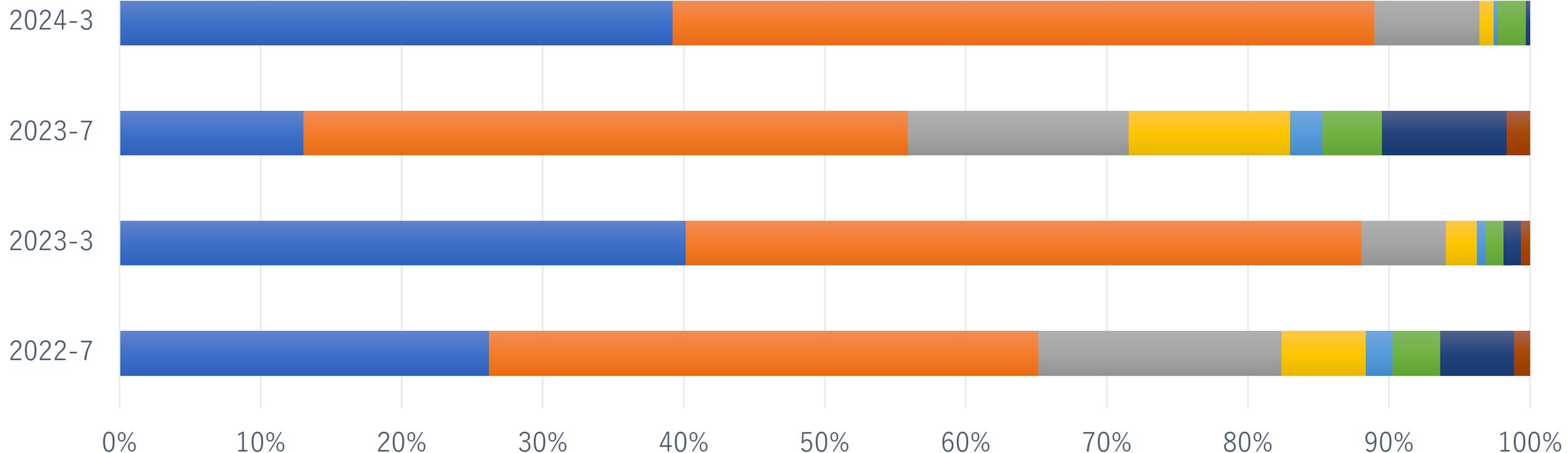
黄色の帯のところは、過去5年間の推移
2019年→2020年→2021年→2022年→2023年

※A～Dの数値は構成比
単位は%

※芸術科の音楽担当教諭が育休のため
####となっています。

No.	設 問	△は実習科目における設問	高等学校				中学校					
			評価	A(4)	B(3)	C(2)	D(1)	評価	A(4)	B(3)	C(2)	D(1)
生徒自身の自己評価			自己評価平均値:3.60 (昨年 3.60)				自己評価平均値: 3.39(昨年 3.48)					
1	あなたはこの授業にまじめに出席し、意欲的に取り組みましたか。		3.74	76.6%	21.6%	1.4%	0.4%	3.59	64.2%	31.4%	3.5%	1.0%
2	あなたはこの授業で出された宿題や課題を自分の力でこなすことができましたか。		3.71	74.6%	22.7%	2.4%	0.4%	3.58	65.1%	29.1%	4.4%	1.4%
3	あなたはこの授業でわからない点があっても、先生に質問するなどしてわかる努力をしましたか。		3.34	50.4%	35.3%	12.4%	1.9%	3.02	40.4%	30.0%	20.6%	9.0%
教員に対する授業評価			授業評価平均値:3.68 (昨年 3.72)				授業評価平均値:3.57 (昨年 3.68)					
4	担当の先生は、授業の開始の時刻と終了の時刻を守っていましたか。		3.65	76.2%	16.5%	3.8%	3.5%	3.54	68.5%	21.0%	6.3%	4.2%
5	担当の先生は、授業のねらいをはっきりと示し、テーマに沿って授業を展開していましたか。		3.73	77.0%	20.0%	2.3%	0.6%	3.68	74.9%	19.3%	4.3%	1.5%
6	担当の先生の説明は、ていねいでわかりやすかったですか。		3.65	72.0%	22.6%	3.8%	1.6%	3.56	66.8%	24.0%	7.5%	1.8%
7	担当の先生は、生徒に対して公平に接していましたか。		3.66	74.0%	20.1%	3.8%	2.1%	3.51	65.9%	23.1%	7.3%	3.7%
8	担当の先生は、熱意をもって授業にのぞんでいるように感じましたか。		3.73	77.5%	19.2%	2.2%	1.1%	3.64	71.9%	21.9%	4.7%	1.5%
9	板書の文字や図は、授業の要点をうまくまとめ、みやすかったですか。		3.64	71.4%	22.9%	4.2%	1.5%	3.53	65.1%	25.8%	6.3%	2.8%
	△担当の先生は、危機管理に気を配り、生徒一人ひとりの安全に対して配慮していましたか。		3.85	85.6%	13.6%	0.4%	0.3%	3.83	84.1%	15.1%	0.8%	0.0%
10	担当の先生は、授業中の質問に対して適切に答えていましたか。		3.73	76.7%	20.0%	2.6%	0.7%	3.63	70.7%	23.5%	4.1%	1.7%
11	担当の先生は、生徒が個別に質問や相談に行っても、適切に対応してくれましたか。		3.66	71.0%	25.0%	3.0%	1.0%	3.56	65.8%	26.8%	5.3%	2.1%
	△担当の先生は、自ら模範演技を見せたり、生徒の優れた作品などを見せていましたか。		3.76	80.4%	16.2%	2.2%	1.2%	3.79	79.4%	19.8%	0.8%	0.0%
12	担当の先生は、私語をする生徒には注意をし、寝ている生徒は起こすなど、毅然と接していましたか。		3.68	73.5%	22.1%	3.4%	1.0%	3.56	66.4%	24.4%	8.1%	1.1%
	△担当の先生は、集中しない生徒、勝手な行動をする生徒などに対して毅然と指導していましたか。		3.82	84.1%	14.4%	1.2%	1.7%	3.85	85.7%	13.5%	0.8%	0.0%
13	担当の先生は、生徒に質問や発言を促し、参加・対話型の授業になっていましたか。		3.67	73.3%	21.7%	3.7%	1.3%	3.58	67.6%	24.2%	6.5%	1.6%
	△担当の先生は、一人ひとりの理解に応じて個別に対応するような指導をしていましたか。		3.74	77.1%	20.1%	2.1%	0.7%	3.75	75.4%	23.8%	0.8%	0.0%
14	授業のスピードや難易度については適度に感じましたか。		3.56	65.4%	26.7%	6.3%	1.6%	3.37	56.2%	29.1%	10.0%	4.7%
	△担当の先生は、グラウンドの整備、教室の美化などについて気を配っていましたか。		3.79	81.7%	16.5%	1.3%	0.4%	3.72	74.6%	23.0%	2.4%	0.0%
15	あなたはこの授業でその科目の知識や考え方を培い、学力向上の役に立ったと感じますか。		3.60	68.1%	25.9%	4.1%	1.9%	3.48	61.5%	28.5%	7.0%	3.0%
	△あなたはこの授業に出て、その科目の技術の習得向上に役に立ったと感じますか。		3.81	82.8%	15.9%	1.0%	0.3%	3.76	78.6%	19.0%	2.4%	0.0%
16	総合的に判断して、この担当の先生の授業に対する満足度はどのくらいですか。		3.63	70.1%	24.7%	3.7%	1.4%	3.53	64.1%	27.3%	6.2%	2.4%

活動の取り組み状況について



- すべて生徒が主導し 活動内容の決定は先生と協働で行われた。
- 先生の支援を受けて生徒が主導していた
- すべて先生が主導していたが、活動内容の決定は生徒側の意見も反映された。
- すべて先生が主導していたが、先生から活動の方向性に関して意見を求められた。
- すべて先生が主導していたが、先生からいろいろな役割が与えられた。
- すべて先生が主導していたが、先生からいろいろな方向性が示された。
- すべて先生が主導していたが、先生からアドバイスはあった。
- すべて先生が主導していた。